

用がかかるから、小學校に行われた時期も考えて、入學期に行うとか、進学期・就職期に行うとか、よく考えて行うべきで、中學校・高等學校を通じて二回以上実施してほしい。

ロ、問題児の発見されたとき行われる。(例えば、精神薄弱児、性格異常児の診断のとき)

ハ、必要のある毎に行う。(例えば、學級の社會性が問題になつたとき、個人の情意検査を行つてみるように。)

2. 團体式を使うか個人式を使うか。

イ、團体式は大體正常児を検査するのに適している。

ロ、精神薄弱児、性格異常児などの特殊兒童には、團体式では充分目的を達し得ないことがある。

ハ、だから團体テストを篩い分けに用いて、異常児を発見すればよい。(学習と知能との相關表など作つてみればよくわかる。)

ニ、そして、それらの異常児を個別テストで精密に調べればよい。

ホ、團体式は時間制限法であるので反應の早い者に有利な傾向にある。この点個別式の場合は反應の遅い者でも能力を発揮させることが出来る。しかし團体式は時間を要しない点がすぐれている。

ヘ、このようであるから、團体式に行うテストを面接法によつて使用するとか、團体テストでやつて面接法で補う(とくに性格テスト)とかいうように、その場に應じて適切に用いることが大切である。

3. 知能率及知能偏差値の修正に就てどう考えればよいか。

都會と田舎とで文化度が異なるからというので、見出された知能率や知能偏差値に幾らかの修正値を加えられることが行われているが、これには大凡の規準がなければならぬ。今それを以下に示してみよう。

イ、修正値を加えることは大體に於て、大都會で作られたテストについて爲されなければならない。それは大都會の文化度の進んだ兒童を尺度の規準にしているからである。例えば、田中ビネー、鈴木ビネー、田中B式というようなテストはそれである。ところが古賀式青少年テストのようなのは、廣島地方の兒童を尺度の規準にしているのである。だからこのテストを用いる場合は、愛媛縣の兒童と大體同様な文化水準にあるとみて、修正しない方がよい。

ロ、それでは大都會の尺度から縣下兒童生徒をみて、どの位修正すればよいであろうか。

	松山市、新居濱市 のような中都市	大洲町、小松町の ような小都市、及 農漁村地方	山村の地方又は極 めて僻處地方
知能偏差値 (ID)	2 - 3	3 - 4	4 - 5
知能率 (IQ)	4 - 5 - 6	7 - 8	9 - 10

ハ、それではどのように記入したらよいか。

知能率及知能偏差値を生徒指導の基礎資料として考える場合は、修正して考える必要があるが、指導要録に修正値を記入することには問題があるので、修正値は記入しないことにする。従つて ID=57 IQ=98 のように記入する。

(五) どのように記入すればよいか。

1. 名称は③の現在行われている検査のところで示してある略号を記入すると簡略でよい。
2. 知能率又は知能偏差値のところは、IQ (知能率) とID (知能偏差値) の区別を明かにして記入する。修正値は記入しない。
3. 知能年齢/生活年齢のところは9年10ヶ月を 9.10 というようにあらわし、テストの種類によって知能年齢の出ないのは生活年齢だけでよい。
4. クラス中の百分率順位は $\frac{1}{42} - 13.1$ (42人中6番—百分率順位は13.1番) というようにあらわせばよい。

百分率順位は次の公式によつて算出される。一然し算出は、内の早見表によつて見出すとよい

$$\frac{100K-50}{N}$$

Nは學級人数
Kは当人の學級における順位数

5. 記入例

知能検査	名称	検査年月日	当時の 學年	得点	知能率又は 知能偏差値	知能年齢 / 生活年齢	所見
	鈴木ビネー式	25. 1. 20	中 1	64	IQ=124	15.0 / 12.7	記憶力よし
古賀青少年式	27. 9. 15	中 3	67	ID=60	/ 14.3	構成力にすぐれているらしい	
田中B式	30. 11. 10	高 2	137	ID=64	/ 16.6		
學力検査	名称	検査年月日	当時の 學年	得点	品等段階又は (相当學年)	クラス中の 百分率順位	所見
	愛研式算数	26. 9. 25	中 1	80	+ 1	$\frac{4}{48} - 7.5$	理数科の如き推理面にすぐる。
	愛研式國語	26. 9. 28	中 1	60	0	$\frac{16}{48} - 32.3$	
愛研式理科	26. 10. 1	中 1	110	+ 2	$\frac{8}{48} - 15.6$		
性適格性検査 その他の調査	名称	検査年月日	当時の 學年	得点	品等段階	所見	
	牛島式性格 徳性 劣等感 情緒 信頼性	25. 2. 5	中 1	0 7 5 3	+ 2 - 1 0 0	徳性良好 劣等感やゝ高い、この爲に発表力、 快活性に欠けるか。	
	近畿式職業興 味性能検査	28. 11. 5	中 3			採集、構成、研究等の方面に興味あり	
	鏡写	29. 10. 10	高 1		+ 2	知的な器用さを示す	
	打叩	10. 12			0	速度は普通	
	分類	10. 18			+ 1	技師、製圖家等が適當のようである。	
	紐挿	10. 25			+ 1		

(六) 早見表(別表参照)

第四章 「身体的發達の要約」欄の記入法

此の欄は医師の立場からでなく、教師の日常の観察や判断によつて教育上必要なことを身体の面から記入するものであるが、学校医の診断に基づく生徒身体検査票とは互いに連関させるべき性質のものである。

(一) 記入項目

- ① 發育の状態。
- ② 健康の状態。
- ③ 運動および作業の能力。
- ④ 矯正或は助長處置。

(二) 記入要領

① 發育の状態。

からだ全体の發育状態とその釣合や平素の姿勢等を綜合して具体的に記入する。

例えば

- (イ) よく釣合がとれて姿勢もよい。
- (ロ) 狭長で猫背である。
- (ハ) 小さくて肥満している。

② 健康の状態

教室内外に於ける元氣のあるなしや、作業時に於ける耐久力や平素の食欲血色、罹病の傾向などを綜合して具体的に記入する。

例えば

- (イ) 何時もいきいきとして作業に率先する。
- (ロ) 偏食し、血色悪く、活氣もなく、作業時によく落伍する。

③ 運動および作業の能力。

運動および作業の特殊能力や、特に秀いでた運動種目があればそれを記入する。

例えば

- (イ) すべての運動にも作業にも秀いで、スポーツバツヂテスト上級合格。
- (ロ) 跳力すぐれバレーボールを特技とする。
- (ハ) 力運動がすぐれているが敏捷性がない。

④ 矯正或は助長處置

特別な障害或いは長所があつたらそれを記入し、それに對してどんな矯正或いは助長處置をしたかを記入する。

例えば

- (イ) 發育不良で特殊学級に編入する。
- (ロ) 重症トラホームにて登校停止、専門医の治療をうけさせる。
- (ハ) 健康で泳力にすぐれているので特別に指導する。

なお、本欄の記入に際しては、前学年の本人に関する記録との関連を特に考慮する。

第五章 「職業的發達記録」欄の記入法

(一) この記録の目的は生徒の職業指導を行うための基礎資料とするものであつて評價するものではない。従つて組織的に観察せられた事實を具体的な言葉で簡潔に記することが望ましい。

(二) 記入上の注意

(1) 職業的な興味および趣味

生徒が將來の職業に対して現實的にもつている興味や関心の程度を記入するものである。趣味は興味の固定化したものと考えて、生徒の興味がどんな方面にあるかを観察したり、聴取したり、質問紙法などによつてとらえる。單に生徒の思いつきというのではなく、將來は職業興味調査(文部省適性検査委員會案)等によつて科学的に調査した結果を記入するようになることが望ましい。

(2) 學校内に於ける職業的經驗

學校が組織的に行つている職業的な催しや事業や行事に対して、どんな方面にどんな經驗をもつているかを知識的、實習的の二方面にわたつて記録する。作業の種類、内容、目的、期間、作業の速度、作業の質的な出来ばえ、熟練度、製作品の質、或は實習の態度、作業についての知識理解の程度、作業に対する興味適性等について特に顯著なものを具体的に記入する。

(3) 學校外に於ける職業的經驗夏期休業中などに従事した職業的經驗について前項に準じて記入する。

(4) 職業的技能及び適性

生徒の特殊な才能や技能や適性を生徒の全活動の中から発見して、その事實を具体的に記録するのである。このためには生徒の日記、行動、集録、適性検査の結果等の利用も必要である。職業的技能というのは職業家庭科の實技に中心をおくが、他教科で見られる技能もそれが職業上の基礎的な技能であると思われるものはこれを記入する。

(5) 生徒の希望職業および學校

生徒が現實的にどんな職業希望をもつているか、またその希望職業を実現するためにどんな學校へ入学することを希望しているかを記入する。生徒の自己分析の結果をまつて記録するのがよい。學年の進むにつれて、だんだん具体的になるようにならなければならない。

(6) 両親の希望職業および學校

生徒の進路に対しては家庭の事情や方針が大きな要素となつているものだから、両親の希望職業と希望學校を具体的にくわしく記入することが望ましい。

(7) 生徒の職業又は學校選定

生徒の選定した職業名や學校名と共に、決定日や就職先や學校の所在地などを記入する。これは補導のためにも必要であるが、職業指導の技術および理論を研究するために必要なのである。【これが(5)と異なるところは、生徒の希望から更に進路の選択決定という点である。事情によつては希望と一致しない場合もあるであろう。】

(8) 生徒の選定に対する保護者の意見および理由。

生徒が職業學校を選定した場合に、保護者はそれについてどういう考えをもつているか

もし選定に保護者が参画したならばどういう理由でそのような決定に到つたかなどを記入する。これは將來の生徒指導に大いに参考になるものであるから、困難ではあつても出来得れば記入することが望ましい。

(9) 生徒の選定に対する教師の勧告

生徒の進路決定についての教師の役割は、あくまでも適切な援助と助言ないし勧告に止まるものである。この欄に記入するためには生徒の興味や技能や適性や経験や生徒の意志や両親の意見等を総合的に調整して最も望ましい結果を得るような配慮のもとになされなければならない。

(10) 学校による補導および援助

生徒の職業指導において、学校では全休としてどんな指導や援助をしたかの記録と、学校を卒えてからの記録をとどめるためのものである。

(三) 記載例

職業的発達記録

項 目	学 年	中 一 年
職業的興味および趣味		こつこつとする事務的な仕事が好きなようである。 能力もある。
学校内における職業的経験		養鶏によく世話をする。養鶏に関する書物一冊 謄写印刷實習、対技術の上達速い
学校外における職業的経験		五日間商店販賣實習、 客との應接下手、興味をもたない。
職業的技能および適性		分類や収集
生徒の希望職業および学校		高等学校工業課程 (25.3.10)
両親の希望職業および学校		高等学校商業課程
生徒の職業又は学校選定		確定はしないが工業方面
生徒の選定に対する保護者の意見 および理由		親としては、紙卸商の家業を継がせたいので商 業科を選ばせたい意向
生徒の選定に対する教師の勧告お よび理由		家業の手傳いをするようにすすめた
学校における補導および援助		親と相談して家業手傳いに興味をもち得るよう 方策を講じた

第六章 「学習成績の発達記録」欄の記入法

A 中 学 校 の 部

1 総 説

本指導要録に於ては、各教科を包括的な評価項目によつて評価することや五段階の評定尺度法を用いたことが、従来とくらべて進歩した事の一つであるから、陥り易い欠陥に注意して本来の目標を生かして、生徒指導上に活用することが必要である。

(一) 目標欄について

各教科の目標は包括的な目標であつて、極めて抽象化されているから、その内容領域については、次の「各教科の評価法」の要領による。

(二) 所見欄について

次の評価欄は、相対的比較の意味を含むものであるが、個性に即して行う指導という点からは生徒それぞれの特性、長所、欠陥、学習上の問題を持つ点等が個性をもとにして記録される必要がある。このような点から、この所見欄にはそれぞれの教科に於ける生徒のおもな活動や、作業の習慣等に於ける個別的又は個性的資料を記録する、即ち絶体的評価成績を記入する。この記録は必要な場合は別紙に記録して加えてよい。

記入例

- ・文学が好きで特によく詩をつくる
- ・知能テストから考えてもまだ伸ばすべき素質をもっているが家庭が常に留守等のことから伸びずに居る。
- ・発表力が少ないので特に指導を加えている。
- ・乗法の九九からはじめている。

(三) 評価欄について

(1) 評価の点数は次の基準による。

5…秀 4…優 (平均より上位にあるもの) 3…良 (大多数を含む) 2…可 (平均より下位にあるもの) 1…不可

(2) 評価点数の学年又は学級に於ける分配率について

無特定、無選択の集団をとつた場合いかなる立場からこれを品等しても、最も普通又は平均のものが、最も数多く存在しているということを意味する正常分配曲線は、いろいろの配分率が考えられるが無特定、無選択な生徒を以て編成された場合には次の分配率を示すのが無理のない方法であると考えられる。

5及び1…7%以内

4及び2…24%以内

3……………38%以上

正常分配曲線は理論的に算出されたもので、非常に数多くのものにつき評価した場合、この線に近づくということを示すものである。現実の50名程度の学級の生徒に厳重にこの割合をあてはめることは妥当でない場合もあるが、以上のべた事を参考にして、検査を行つた場合その内容や尺度のきめ方が適当でなかつたりすることのないよう注意する必要がある。

(3) 学年又は学級に於ける成績の偏差を知る爲には常に標準検査欄との比較考察に於て公平に判断を下すべきである。

(4) この欄の評価は主としてその学級又は学年に於ける本人の相対的評価を行うもので、これは年末の試験によるのではなく、一年間を通じての資料によつて評価すべきである。

(四) 所見欄の記入例

(國語科)

読む速さは他の生徒と大体同程度。文学は大体の理解ができ、鑑賞も可。但し短歌方面は大分すぐれている。文学的なものも実用的なものも、よく表現できる。文法的にも正しく書ける。声が少し低いのが欠点だが、態度は大体できている。

1 各教科の評価法

(一) 国語科

国語科学習指導は社会的、精神的、文化的な要求にあつた価値のある態度、理解技能を生徒の言語生活の中に発達させてゆく事を任務とする。それには次のような具体的目標が考えられる。

1. 話し方(きき方を含む)

自分を社会に適應させ、生活上に必要な知識や情報を得るために、他人の話に耳を傾ける習慣や態度を養い技能を発達させると共に、他人と交つて自分の意見を発表し、他人を行動させるために生き生きとした話をしようとする態度と技能を養うことを目標とする。そのためには大体次のことについて評価する。

- イ、お互の話のきき方
- ロ、講演のきき方
- ハ、質問のし方
- ニ、童話物語の話し方
- ホ、あいさつのし方
- ヘ、ラジオの聞き方
- ト、発表のし方
- チ、朗読のし方
- リ、劇のし方
- ヌ、映畫の見方
- ル、対話のし方
- ヲ、討論のし方
- ヾ、議事の進め方
- カ、演説のし方
- ヨ、電話のかけ方

2. 作文

自分の考えをまとめたり、他人にうつたえたりするために、力のある、わかりやすい文章を書こうとする要求と態度を養い、技能を発達させることを目標とする。そのためには、大体次のことについて評価する。

- イ、ノートを使い方
- ロ、答案の書き方
- ハ、記録のとり方
- ニ、雑誌のつくり方
- ホ、新聞のつくり方
- ヘ、文集のつくり方
- ト、日記のつけ方
- チ、社交的な手紙のかき方
- リ、実務的な手紙のかき方
- ヌ、詩のかき方
- ル、小説のかき方
- ヲ、脚本のかき方
- ヾ、論文のかき方

- カ、随筆のかき方
- ヨ、書類のかき方
- タ、掲示や広告のかき方
- レ、プログラムのつくり方
- ソ、電報のうち方
- ツ、表記一般

3. 読 解

読書技術とでも言うべきものであつて、従來の「講讀」とはつきり區別されねばならない。つぎの「鑑賞」とわけて、純然たる讀む力について評價する。その項目を分析すれば、つぎの如くなる。

- イ、文学及び語句の読み方
- ロ、理解しながら讀む速度の改善
- ハ、大意や中心思想のとり方
- ニ、讀んだことのまとめ方及び發展のさせ方
- ホ、参考書の利用法
- ヘ、辞書の使用法 } 必要な資料をみつけ出す力
- ト、詩、物語、随筆、脚本の読み方
- チ、新聞、雑誌のよみ方
- リ、讀書衛生
- ヌ、良書のえらび方
- ル、圖書を大切にす態度
- ヲ、圖書館利用經營
- ワ、強い讀書意欲と習慣

その基礎技術としての讀む力は学習指導要領117頁に詳しく分析されて記されてある。即ちもつと實際生活面に役立つ讀書力の養成という観点から評價されねばならない。

例えば理解しながら早く讀む力等を重要視して指導評價されねばならない。なお、よむ力の測定改善については指導要領123頁以下参照のこと。

4. 鑑 賞

わが國の古典文学のみならず、現代文学、世界文学に對する歴史的、文学的理解及び鑑賞、批判能力につき評價する。

5. 文 法

正しいことばを使うことによつて、相互の理解を完全にし、われわれの言語生活と言語文化とを一層向上させようとする態度と理解と技能とを發達させることを目標とする。そのためにはあらゆる形式の話し方、作文の機会を通じて、文法的に正しく話され、書かれているかにつき評價すると共に、特定の機会において、話しことばの特質、口語文法、文語文法、國語の變遷、國語改良問題に對する知的理解について評價する。

6. 習 字 (中学校のみ)

毛筆及び硬筆習字において、仕事に對する誠意、意欲、姿勢、執筆、腕法など、つまり習字の準備的態度と、作品にあらわれたよさ、うまさ等の實技の二つの点から評價する。

なお、評價にさいしては、以上の5-6項目は個々に存するものではなく、相互に機能的に關

連するものであることに留意する。

(二) 社 会 科

1. 知 識・理 解

この項目には歴史的、地理的、経済的、社会的事項等の基礎的な知識や理解を含むものであつて、その主な内容領域には次のようなものが含まれるであろう。

- (1) 各種の社会や社会関係及びそれらの自然環境との関係の理解
- (2) 生産、流通、消費、交通、通信、政治、保全、文化、厚生等の根本的な社会的機能の性質や相互関係の理解
- (3) 社会の歴史的背景及び社会の歴史的発達の理由、条件、方向、形態等の理解
- (4) 各種の轉業が社会生活に對して果している役割の理解
- (5) 国民の福祉が政治の活動に密接な関係をもつことの理解

2. 技 能・能 力

この項目には問題解決法を用いて問題を解決したり、批判的な思考をなし得る能力や技能を含むものであつて、その主な内容領域には次のものが含まれるであろう。

- (1) われわれが過去から受けついで遺産の價値を認める力
- (2) 社会の諸過程に對し知的に判断し、科学的に批判し、事実にもとずいて意見を立てる能力
- (3) 自己の轉業を有効に選択する能力
- (4) 人といろいろの問題について討議したり、人に會つて知識を得たり、人といろいろ話し合いをする能力
- (5) 自主的に研究調査し、科学的に資料を処理する技能
- (6) 国民を眞に尊敬し且つ有能にして良心的な指導者を選挙するというような社会人として必要な基礎的な技能

3. 態 度・習 慣

この項目には生徒の学習の過程において、生徒相互、又は社会的な人間関係に對する倫理的態度や習慣及び價値を追求し、之を公共の福祉のために用いる態度や習慣を含むものであつてその主な内容領域には次のようなものが含まれるであろう。

- (1) 社会の諸過程に對し、知的に判断し、科学的に批判し、事実にもとずいて意見を立てる態度
- (2) 地域、個人、集團、各種の社会、國家相互の間の民族的、宗教的、経済的な協力を賢明に有効に促進する態度
- (3) 眞理への愛、美の享受、正義への信頼に對する望ましい態度を養わせ、知識を社会公共の福祉のために用いる意志を強固にする
- (4) 他人の職業について、その上下にかかわらず、それが社会に貢献する限りこれを尊敬する態度
- (5) 自分及び社会全体の健康を保ち、その健康を増進する態度
- (6) 人といろいろの問題について討議したり、人に會つて知識を得たり、人といろいろ話し合いをする際に禮儀正しい態度
- (7) 技能、能力の(5)項にある行動をする態度
- (8) 人と協力して皆が望んでいる目標を達成する爲に仕事をする習慣
- (9) 民族、國籍、信條、性、皮膚の色などの相違にかかわらず、すべての個人の尊嚴及びその本来の價値を尊敬する態度

- (10) 社会人としての自己の責任と義務とを引受けるとともに、自己の権利と自由とが尊重されることを主張する習慣と態度
- (11) 政治を、国民が自己の問題を協力して解決する手段と考える態度を養い、またこのような活動に参加する習慣を伸張させること
- (12) 政治に対する社会人の影響や支配力を活潑にさせるようにする習慣
- (13) 社会生活にその一員として自由に参加し、社会全体の福祉のために努力する態度と習慣

(三) 数 学

指導の材料は中学校及び高等学校の一般数学に於てはまとまりのある生活問題が主として取上げられ、高等学校の解析、幾何は概ね数理の系統に従つて組織されるべきだと思ふが、どちらも単に既成の数学の傳達に終るべきでなく漠然とした個々の知識から厳密なものへ体系づけられて行く過程を重視して指導すべきで、その成長の結果を評價することが重要であると思ひ、次の評價目標を定めた。

(1) 評 價 目 標

イ、理 解

個々の知識から抽象して普遍的な概念に到達することを理解という。生徒が具体的な事象から次第に数量形の概念を明確に形成していく過程や、具体的な問題を解剖して計算、調査、統計、測定、測量、図示、作図等の処理の仕方を工夫し乍ら、之等の一般的な処理方法を會得していく過程と共に、その達成の程度を評價する。

又数学の應用や文明の進歩に於ける役割に対する認識の程度も併せて評價する。

三角比とはどんなものかと云うことや、對数の計算の仕方を理解したと云うことと、機械的に記憶したと云うこととを区別して評價に當るべきである。

ロ、能 力

抽象された普遍的な概念を逆に具体的に適用する力を能力という。

理解の項で述べた数学的な概念を、實際問題(生活上の問題、理論的な問題)に適用し、それを正しく解決して行く力の程度、即ち直観力、推理力、思考力等によつてその問題の焦点を考察する能力と、計算、調査、統計、測定、測量、圖示、作図等の處理技能の習熟の程度を評價する。

ハ、態 度

能力の項で述べたことが習慣(行動の傾向)にまで高められているか、更にそれが道徳的にも正しく使用されるか、即ち数学的な生活態度の確立の程度を評價する。

例えば

数量形の表現形式を使つて、自分の考えを適確に述べるようになりつつあるか。

事実を尊重し、物事を客観的に判斷處理するようになりつつあるか数量的に計画を立てたりその計畫を遂行していくようになりつつあるか。

論理的にすじみちを立てて、考えていくようになりつつあるか。日常生活に現われる事柄を数学的な知識概念、技能を使つて適確に處理していくようになりつつあるか等について評價するのである。

(2) 評 價 の 方 法

イ、理解については学習指導中、觀察によつて評價する外、達成の程度は筆答によつて評價する


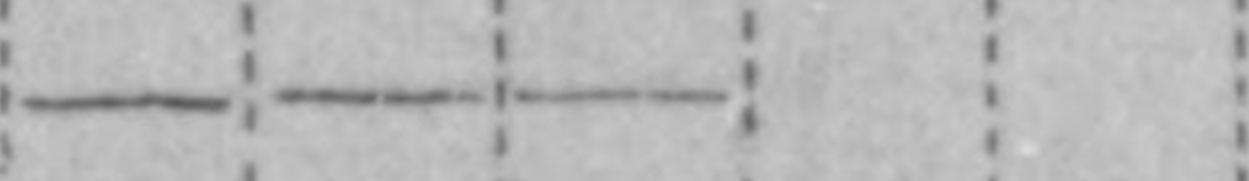
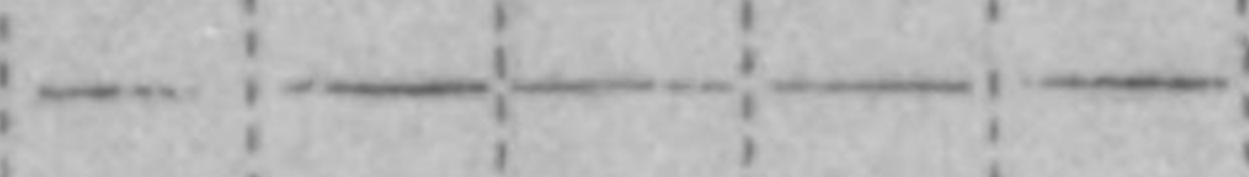

ロ、能力については筆答を主とし、ノート、製作物の調査、觀察を加味して評價する。

ハ、態度の確立程度は主として観察によつて評價する。

ニ、評價の方法については、学習指導要領一般篇を参照すること。その中に述べてある分析的な考査法については次の例を参考にして各学校で研究するよう希望する。

(A) 再生法

下の線を見て右の間に答えなさい

(A) 	(B) は (A) の	%
(B) 	(A) は (C) の	%
(C) 	(C) は (A) の	%
(D) 	(D) は (C) の	%

(B) 選択法

次の文章の中でかつこをして並べてあることの中から、よくあてはまるものをえらんで、その下に線を引きなさい。

私の組の人の体重の平均は38kgです。この平均値38kgは

- どの人の体重もこれより多い
- どの人の体重もこれほどない
- どの人の体重も丁度38kgである
- もしどの人も同じ目方ならどれも38kgになる

ことを意味します。

(C) 眞偽法


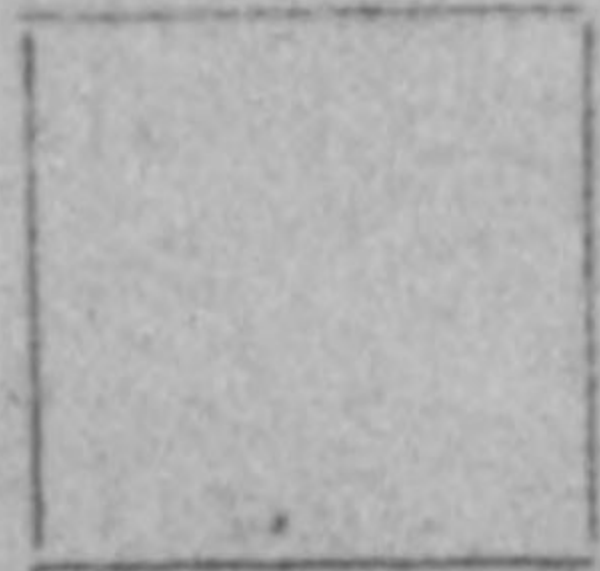
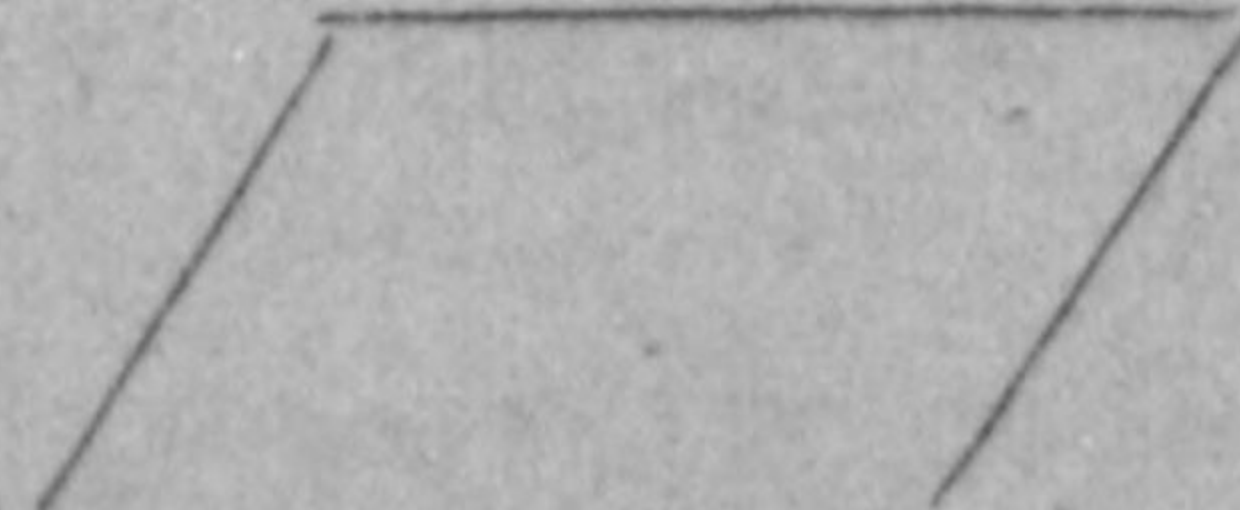

次の文章をよんで正しいと思つたら「そうです」の上に○、間違つていると思つたら「ちがいます」の上に○をつけなさい。

正の数を1以上の数でわると商はもとの数より小さい。

そうです。ちがいます。

(D) 組合せ法

左の図にある図形とそれにふさわしい右側の言葉とを線で結びなさい。

	四角形
	長方形
	ひし形
	台形
	平行四辺形
	正方形

(E) 記録法

次の機関はいづれもお金をあつかっています。その仕事をよく考えて答のそれにあたるところに○をつけなさい。いくつも相当するものはどれも○をつけなさい。

	答			
	現金の預金をあづける	小切手をあづかる	主として個人に金をかす	会社等の法人にも金をかす
郵便局				
銀行				
信用組合				
庶民金庫				

(F) 完成法

次の……の部分に適当な数を入れなさい。

$$(-10) + (+6) = (-2) \times \dots\dots$$

$$2X + 3 = X - \dots\dots \quad X = -4$$

(G) 図解法

下の図は或る考査におけるAの点数である。B、C、D、Eの点数を図示しなさい。

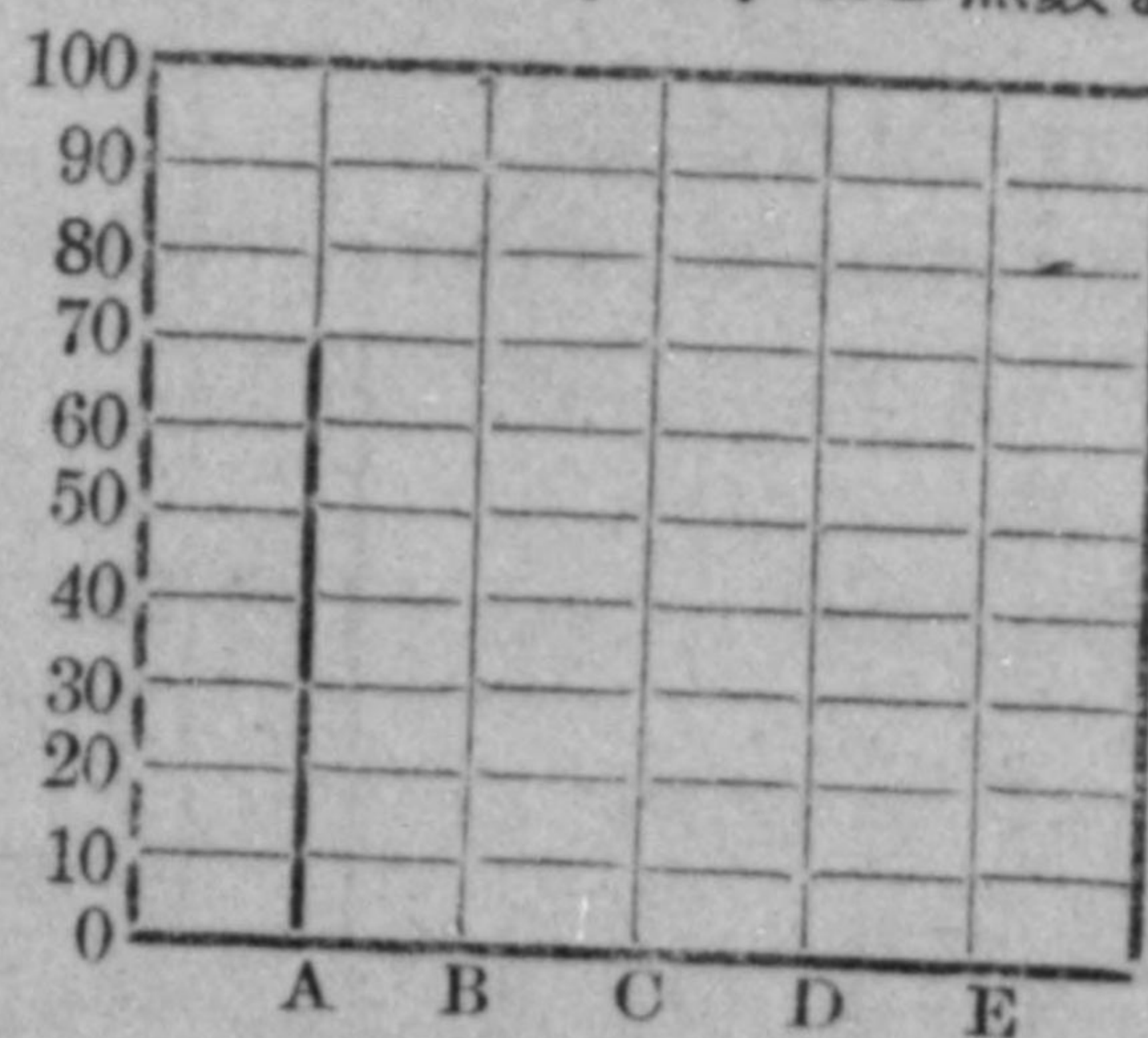
但し

BはAの $\frac{3}{4}$

CはAの80%

DはAの1.2倍

EはAの9割5分である。



(H) 訂正法

次の文章でおかしい点があればその部分を訂正し、正しいものに直しなさい。

二つの三角形で三頂角がそれぞれ等しいときは合同である。

(I) 作文法

次の幾つかの言葉を並べかえて正しい文章にしなさい。

生計費、飲食費、我々の生活は、割合は、の中で占める、大變、2倍ぐらい、最近、戦前、は、だからそれだけに、より、大きくなっている、苦しい、が。

(J) 排列法

太郎君はお父さんと今年の所得税の申告をするために計算しています。その時の処置の順序を次の()の中に1.2.3……と記入して示しなさい。

- () 基礎控除額及び扶養家族控除額を合計して控除額を求める。
- () 税率を表から求める。
- () 今年の所得額を見積る。
- () 課税額を計算する。

() 税額を計算する。

(K) 判定法

次の事柄のうちで正比例するものがあつたら()の中に正と記し、反比例するものがあつたら()の中に反と記しなさい。

- () 同じ距離を歩く時、歩く速さとかかる時間。
- () 一日の晝の長さとか夜の長さ。
- () 円の直径と円周。
- () 人の身長と体重。
- () 円の半径と面積。

以上は主として文部省の示したものであるが評価の方法はこれで盡されているわけではない。要は評価しようとする事柄が確実に抽出出来るように問題とその形式を工夫することが肝要である。

(四) 理 科

1. 評価目標

イ、知識と理解…に含まれる主な内容領域

- 教材の目標についての理解
- 動物に関する知識と理解
- 植物に関する知識と理解
- 空と土に関する知識と理解
- 保健に関する知識と理解
- 機械、器具、道具に関する知識と理解

ロ、能力・技能

考え方と技術面を表したもので、含まれる主な内容は次のごときものである。

- 正確、綿密に観察する能力
- 比較、継続、数量的に観察する能力
- 分析総合する能力
- 推理、直覺、創造する能力
- 原理を應用し普遍化する能力
- 問題をつかむ能力
- 健康を保ち進める能力
- 飼育栽培の技能
- 機械器具の使用及び工作する技能
- 資料の蒐集利用の技能
- 実験の仕方や整理整頓する技能

ハ、態度習慣

- 環境に理科的興味疑問を持つ態度習慣
- 疑問を持ち究明しようとする態度習慣
- 事実を尊重し偏見、主観的判斷をさける態度習慣
- 正確慎重に行動し物事をなすとげる態度習慣
- 根氣よく継続的になすとげる態度習慣
- 科学を尊重し實際生活に應用する態度習慣

- 綿密に注意深く観察する態度習慣
- 道理に従い守る態度習慣
- 新しいものをつくり出す能力

2. 評 價 の 方 法

学習指導要領一般編第五章を参照し、「学習結果の考査」の項の方法を各目標の項目を考えて適用する。

3. 資料を集める上の注意

- (イ) 学習單元毎にその指導目標を、発達段階に応じて具体化して指導にのぞみ、常にその項目による観察を記入して行くための補助簿を作成し、眞に一年を通じての累加された記録を集めて指導要録に記入すること。
- (ロ) 知識に偏することなく指導目標及び評價目標に応じて全体的に理科的発達を把握すること。
- (ハ) 各児童生徒の観察による評価をする場合は縁量効果に注意して公平を期すること。
- (ニ) テストを行う場合はそのテストの問題によつて判定される評価目標の限界を明かにし、その生活の全体がそのテストに表れるという考えをもたぬこと。
- (ホ) 各單元毎に生徒の成就した学習結果を総合して、教師は絶えず観察することによつて、指導の適正を期待すると共に、その観察されない項目のある生徒のないように注意すること
- (ヘ) 特に著しい創造能力を有するとみとめられる者は、教科の本質にかんがみ特に注意して記入すること。

(五) 音 樂 科

(一) 音楽科評價の項目

- 理 解
- 鑑 賞
- 演 奏
- 創 作

(二) 四項目設定の理由

音楽活動の分析	表現活動 (表現)	再現的表現 (演奏)
		直接的表現 (創作)
	受容活動 (理解)	知的理解 (理解)
		感覺的理解 (鑑賞)

(三) 評 價 の 目 標

1. 理解 (知的理解の有無正否を評價る)

(1) 樂典に関する事項

- イ、高音部記號と低音部記號
- ロ、音符と休符の種類、名称
- ハ、拍子と小節
- ニ、長音階、短音階
- ホ、調子と調子記號
- ヘ、音 程
- ト、發想記号、速度記號
- チ、其他の諸記號

- ② 和声に関する事項
 - イ、主要三和音に関するもの
 - ロ、副次三和音に関するもの
 - ハ、属七の和音に関するもの
- ③ 楽式に関する事項
 - イ、楽曲の形式について
 - ロ、楽曲の編成について（リズム、旋律、和音等の理解）
- ④ 楽器の編成の基礎に関する事項
 - イ、各種合奏音楽の名称と音色
 - ロ、合奏（合唱）の各種形態（弦楽四重奏、ピアノコンチェルト等）
- ⑤ 音楽史に関する事項（系統的な知識は要求せぬ）
 - イ、中世以降の音楽とその時代的特徴
 - ロ、著名な音楽家とその作品
- 2. 鑑賞（音楽を感覚的に理解する程度を評価する）
 - ① 音楽の感じ方（明るい、楽しい等）
 - ② 判別力
 - イ、音楽の優劣の判別
 - ロ、技術の巧拙の判別
 - ③ 楽器と音色に対する理解
 - イ、楽器と音色の識別
 - ロ、楽器の音色の組合せに対する理解
（人聲） （合奏・合唱）
 - ④ 音楽の要素に対する理解
 - イ、リズム・旋律・和聲のどれが主になっているか
 - ロ、三要素の平均のとれ方は如何等
 - ⑤ 音楽の形式構成に対する理解
理解の項と連絡する
 - ⑥ 標題と音楽との関係の理解
描写的か概念的か
 - ⑦ 民謡と労働及び社会生活との関連に対する理解
 - ⑧ 各国音楽の特徴に対する理解
 - ⑨ 音楽の様式の理解
古典音楽・ロマン音楽・現代音楽の様式の判別
 - ⑩ 詩と音楽との連関に対する理解
詩全体の語感、調子、句調等と音楽表現との関係の理解
 - (11) 学習意欲の程度
- 3. 演奏（歌唱及び器楽についてその技術や熟練度を評価する）
 - ① 発聲や演奏の基礎技術
 - イ、発聲の自然性
 - ロ、発音の明瞭度

- ハ、高い声と低い聲との質的な平均度
- ニ、呼吸法
- ホ、楽器の操作法の正否
- ヘ、音色美
- ト、演奏の正確性

② 音楽の要素の理解と表現

- イ、リズムの把握と表現力
- ロ、音程の把握と表現力
- ハ、和音の抽出唱
- ニ、伴奏による歌唱並に演奏
- ホ、合唱及び合奏の能力
- ヘ、読譜力
 - リズム・音程を正確に把握しているか
 - 曲想は
 - 初見演奏（歌唱）力は
- ト、表情の理解と技術

4. 創作（創作について模倣性と独創性の両面を評価する）

① 創作の基礎的技術と能力

- イ、曲の起し方と終止の自然か否か
- ロ、音程及びリズムのつなぎ方の自然か否か
- ハ、反覆・模倣・変化などの方法の理解

② 旋律や小曲の創作力

- イ、動機的发展
- ロ、形式のまとめ方
- ハ、歌詞に対する曲のつけ方
- ニ、和聲に対する考慮

③ 記譜能力

- イ、写譜能力（連度・正確度・美等）
- ロ、聴音・書きとり（同上）
- ハ、誤譜の訂正力
- ニ、旋律を與えて移調記譜

内 図画工作科

(一) 図画工作の評価の基準

図畫工作科學習成績評價の目標として

- 理解（基礎技術の理解）
- 鑑賞（美の鑑賞）
- 表現（創造的な表現）

の三つをあげ得る

造形活動と觀る創造的な表現とは表現活動が各教科や生活の中心課題の中に溶け込み工夫創意を

働かせ拡充発展して行く部面であり、基礎技術の理解は創造的表現活動に必要な基礎ともなるべき技術面の理解修得であり、美の鑑賞は表現活動と共に造形教育における一つの大きな要素であり廣義に解釋して美術、生活、自然の鑑賞を意味する。この三つの目標に應ずる評價の基準を考えてみるとき次の様になる。

1. 理解（基礎技術の理解）

色彩及形体に関する知識、製図の知識と技術、図法の知識と技術、用具の正しい使い方、設備備品の使用、手入保存、修理の知識と技術、材料に関する知識、各種表現法の理解……等。

2. 鑑賞（美の鑑賞）

美術品、工藝品、美術工藝品の美的價値の認識、美術作品に対する正しい批判力、自然美、人工美の把握、形や色に対する鋭敏な感覚、美術價値を見わける力、美術に対する関心、美術を愛する精神、美術史の知識、美術と時代との関心の認識、美術と生活との関係の理解……等。

① 次にこれらについてどの學年にどんな能力が要求されているか。どんな発達段階を示すのが正常であるかということは學習指導要領の図工篇の各學年各単元の指導目標を参考にして戴きたい。

② この上個人の成長と発達の跡がわかり指導のよりどころとなるような質的な必携評價表が欲しい。そうして、効果的に兒童の理解が出来るようなものゝ考案が望ましい。

3. 表現（創造的な表現）

精密で正確な観察と描写要点の把握と簡単な描写ができるか。新しい造形品を創造し美しく構成する能力があるか。木、金属、コンクリートなどによる工作物が美しくできるか。機能的なよい図案装飾ができるか。作図は正確か。木製品、金属製品の設計製作修理能力があるか。工具材料設備備品を使いこなす能力があるか……等

(二) 図畫工作評價の方法

1. 理解力の評價方法

理解力の評價方法としては、やはり記述尺度法が應用できる。そのほか、次の方法をそれぞれ教材の性質に應じて用いることが必要である。

① 知識の有無の考査法

再的法、選択法、眞偽法、組み合わせ法、記録法、図解法

② 考え方の考査法

完成法、訂正法、作文法、排列法、判定法

2. 鑑賞力の考査方法

美的鑑賞力の考査方法として先ず第一に考えられるのは作品をみて、その感じを自由に話させて、それによつて鑑賞力を知る方法であるが、言語的表現力不十分のため作品から受けた感銘を言語や文章に完全に現わし得ない場合があるからこの方法は弱点をもっている。そこで次の二つの方法が普通用いられる。

① 並立比較法 ② 順位比較法

3. 表現力の評價方法

① 一對比較法（総合的な方法）

② 記述尺度法（分析的な方法）

この兩方法とも考査者の主観によつて評定されるものであるが、適當な客觀的な標準尺度が評定されていない現今ではこの二つの方法によるより外はない。

(七) 保健体育科

この欄は健康教育と体育とを総合して理解技能、態度、習慣の面から評価する。
その各目標の主な内容領域は次の通りである。

(1) 理 解

- (イ) 身体の形態、構造、機能について理解しているかどうか。
- (ロ) 公衆保健の組織や機能について理解しているかどうか。
- (ハ) 個人、家庭および社会の生活に必要な衛生事項を理解しているかどうか。
- (ニ) 体育運動の種類、方法、効果等について理解しているかどうか。
- (ホ) 競技、試合等の規則や方法について理解しているかどうか。

(2) 技 能

- (イ) 生活環境の変化に順応する能力の程度はどうか。
- (ロ) 学習経験を自分で実行する能力をもっているかどうか。
- (ハ) 敏捷性の技能の程度はどうか。
- (ニ) 巧緻性の技能の程度はどうか。
- (ホ) リズム感情を身体で表現する技能の程度はどうか。

(3) 態 度

- (イ) 健康生活に必要な事項に自律的、計画、積極的であるかどうか。
- (ロ) 熱心で真面目であるかどうか。
- (ハ) 各種の運動に必要な規律的態度はどうか。
- (ニ) 競技や試合に対する公正な態度はどうか。
- (ホ) 他人と協力するかどうか。
- (ヘ) 器具、器材を大切に扱うかどうか。

(4) 習 慣

- (イ) 個人および社会の健康生活に必要な事項を自発的に実行しているかどうか。
- (ロ) 学習活動が家庭生活の中にも浸潤しているかどうか。
- (ハ) 余暇を利用して種々の運動を実行しているかどうか。
- (ニ) 校内試合等の競技會に積極的に参加しているかどうか。
- (ホ) 運動やスポーツが性格形成に大きな影響を與えているかどうか。

(八) 職業・家庭科

目 標： 理 解 態 度 技 能

(一) 理 解

- (1) 實生活に役立つ仕事をすることの重要さの理解、およびその基礎的な知識、理解。
- (2) 家庭生活、職業生活の協力的な明るいあり方について理解、およびその社会的、経済的な知識、理解。
- (3) 職業の業態および性能についての知識、理解。これら理解の程度を評価する方法には、主として知識に関するもの、主として考え方に関するもの、および知識と考え方との総合したものの三点から調べる。

(二) 態 度

- (1) 家庭生活、職業生活の充実向上を図ろうとする態度。
- (2) 勤労を重んじ、たのしく働く態度。態度の評価は主観的におちいり易いから努めて客観的

な評價に近づくように心掛けること。

勤労愛好の態度、研究的態度、自己省察並に選職的態度、協同性、責任感、親切心、服従心、意志力、正直さ、動作等。

(三) 技 能

- (1) 實生活に役立つ基礎的技能。
- (2) 仕事を科學的、能率的かつ安全に進めようとする能力。
- (3) 個性や環境に應じて將來の進路を選択する能力。

正確さ、速さ、熟練度、巧みさ、獨創力、應用力、觀察力、判断力、統率力、選職能力等。

記 載 例

科目	目標	一 年		二 年		三 年	
		所	見 評價	所	見 評價	所	見 評價
職業・家庭科	理解	家庭生活に協力と責任の必要性を理解した。野菜の栽培の知識普通程度に習得している。	4	季節による科學的事情に興味をもつ。各種産業間の有機的関連についての理解がほぼ得られた。	3	職業調査 6種やつた。家庭生活の科學的部面に対して改善の必要についてよく理解した。	4
	態度	自分の身の廻りのことがよく出来るようになった。與えられた仕事に対して努力する。	3	生活の科學的部面について進んで研究する。擔當園の管理に積極的である。	4	自己反省による選職的態度に見るべきものがある。家庭生活の改善を研究し實行しようとする。	4
	技能	時計の分解修理の實習に指先の器用さを見せた。鋏の使い方をよく心得ている。	4	電氣器具の組立や製圖についての技能に見るべきものがある。食物について栄養面の組み合わせ佳良。	4	事務實習で記帳や書類整理等は普通程度家庭生活の技術や上達。被服に対する鑑賞力普通。	3

(九) 外 國 語 科

次の内譯欄に示す項目毎に採点し、綜合得点を生徒指導要録に記入する。なお次表の學年別採点比率は一例を示したにすぎないが概ね妥當な数字と考えられる。

		内 訳	中1	中2	中3	高1	高2	高3
聞く能力	理	正確度	4	5	4	4	4.5	4.5
		速度	3	3.5	4	4	4.5	4.5
		態度(積極性と集中力)	3	2	2	2	1	1
		計	10	10	10	10	10	10
読む能力	解	理解と速度	6	6	6	7	6	6
		鑑賞	0	0	1	1	2	3
		態度(積極性と集中力)	4	4	3	2	2	1
		計	10	10	10	10	10	10

話 す 能 力	表	文法(文と語)	1	2	3	3	4	4
		發音	3	3	2.5	2.5	2.5	2.5
		抑揚(accentとintonation)	3	3	2.5	2.5	2.5	2.5
		態度(積極性、集中力、音聲)	3	2	2	2	1	1
		計	10	10	10	10	10	10
書 く 能 力	現	文法(文と語)	1	2	3	3	4	4
		用語の適否	2	2	2.5	3	3.5	4
		綴字	2.5	2	1.5	2	1.5	1
		習字	2.5	2	1	0	0	0
		態度(積極性、集中力、創作意欲)	3	2	2	2	1	1
		計	10	10	10	10	10	10

(十) 特別教育活動

- (1) 評價目標が設けてないのはその本質上、各個人によつて活動事項が異なることもあり、またきまつた評價の項目を設けてもあてはまらないことがあると思うからである。
- (2) 然し豫定する評價の目標には次のような点を中心に考えられる。

(イ) ホーム・ルーム (ロ) 生徒會等に於ては諸活動に対して積極的か無関心かどんな役員に選ばれてどんな活動振りをしているか、活動や指導を通じてどんな資質が伸ばされたか (ハ) クラブ活動に於て、どんなクラブに属してどんな活動をしたか等のことを観点とする。そして、活動内容や活動状態に於て社交性、責任感、指導能力、企劃性、獨立性、信頼性、余暇の善用等についての顯著な事項及びそれらについての所見などを中心に記録する

記入例

- ホームルームの會計係をつとめてから、正確で、責任感が極めて強くなった。
- 生徒集会にはよくまぜかえして協同性を欠ぐことが多いが、學校新聞については極めて熱心で企劃性が強くなった。
- 運動班の野球部長をつとめて、指導性を持ち、部員の信頼性があつた。

B 高等學校の部

1 總 說

- 一、中學校の學習成績の發達記録についての記入法の要領によつて記入する。
- 二、所見欄には中學校の部の處で記した記入例に準じ、毎科目の各目標毎の所見を文章によつて簡潔に記す以外に各教科毎に生徒の選択した科目名を記入し、生徒の選択教科が一教科につき二科目上にわたる場合には右記の要領によつて

教科	國		語		
目	話	作	讀	鑑	文
標	し	文	解	賞	法
			(國語甲)		
			(國語乙)		
所見			(漢文)		
一 評 價	4	3	4	4	2
		3	3	5	
			3	3	

記入する。

(注) 國語甲、國語乙、漢文の各科目の評価は評價欄を三段に割り同じ順序で上から評点を記入する。

三、外國語と特別教育活動との間にある空欄は「その他特に必要な科目」を生徒が選択した場合に使用する。

四、裏面の教科名等を空欄のままにしてあるものは、生徒が實業課程を履修する場合に使用するものである。

2、各教科、科目の評価法

欠きに述べられていない教科の評価法については、中學校の部を参照のこと。

(一) 國語科

中學校の部参照。

漢文科の評価について

漢文學習は國語學習と切りはなされるべきではない。古典學習としての漢文學習において、漢文と日本文化との関係を理解し、シナ學や東洋文化への関心をもたせると共に日常生活に必要な國語の力を伸ばすために漢字、漢語の発音、意味、構造を理解し、漢文派の文章及び漢文の特質を理解し、これを讀解する力を伸ばすことによつて、國語を讀む技術を高め、かつ又漢文と國文學との関係を理解することによつて、文學一般の鑑賞と批判とに役立てねばならない。國語教科における漢文という科目の評価は、その独自の面において、讀解、鑑賞という二目標が考えられるが、國語科としての立場からも、國語科の讀解、鑑賞、作文その他の學習目標とも常に関連づけて評價されねばならない。

(二) 理科

(1) 評價目標

中學の部及び高校學習指導要領各科の理解の目標、指導上の注意事項を充分留意すること。

(特に能力技術及び態度習慣の目標については、指導要領理科編及び中學の部のもの参照のこと。)

(2) 評價の方法

中學の部参照

(3) 資料を集める上の注意

中學の部参照

(三) 藝能科音楽

(一) 音楽評價の基準

音楽の學習成績評價の基準を

○理解(音楽史、音楽理論)

○鑑賞

○表現(演奏技術—声乐、器楽)

○創作(書取、作曲、即興演奏)

の四項におく

(二) 各項評價の範囲

1. 理解

○音楽史

①西洋楽音の古代、中世、近世までの歴史的発展の概要の知的理解

- ②日本音楽史の概要の知的理解
- ③近世における西洋音楽の発達に関する系統的知識

○音楽理論

- ①譜表、音名、音符、拍子、音程、音階諸記號並びに標語等の知識

②和声

三和音四声部、三和音の連結、轉回和音、四和音、分散和音、終止法、簡単な伴奏

③樂式

イ、基礎樂式——唱歌形式、複合三部形式、ロンド形式、ソナタ形式、變奏形式、

ロ、應用樂式——組形式の樂曲、ソナタ、コンチエルト、変奏曲、組曲、シンフォニー、舞曲

その他の樂曲

④對位法の初歩

⑤樂器論—編成法

⑥演奏様式

声乐と器樂、吹奏樂、室内樂、オーケストラ、歌劇、宗教樂

以上の知的理解の程度。

2.鑑賞

略(中学校の部参照のこと)

3.表現

表現活動を再現的表現(演奏)と直接的表現(創作)とにわけるとは前者のみをこの項で評價し後者は創作の項で取扱う。

主として演奏技術の習得程度について評價するわけであるがそれは声乐、器樂の両方面にわたつてなされねばならない。

○声乐

- ①發声法——自然であること、美しいこと、充實していること

②独唱合唱の技術

- ③發想技術——正確な音程、テンポ並びに樂曲の正しい理解の上に立つ健全な發想法の習得程度

度

④読譜力

⑤重唱技術

⑥原語歌曲の歌唱能力

○器樂

- ①独奏樂器演奏の基礎技術

②吹奏樂の合奏技術

③室内樂の合奏技術

- ④内容並びに形式に対する理解と基づく演奏であるか否か。

⑤表情的技巧

4.創作

○書取

- ①單音の音高並びにリズム、三和音の種類等のきき分け

②記譜法—確度、速度

③音楽に対する記憶力の程度

④三和音の書取

⑤旋律の書取

○作曲

- 唱歌形式による簡単な旋律の作曲
- 簡易なコラールの作曲
- ③簡単な舞曲マーチなどの作曲

○即興演奏

- 唱歌形式による簡単な楽曲の即興演奏
- 簡易なコラール風な楽曲の即興演奏
- ③簡易な舞曲、マーチなどの即興演奏

(備考) 以上は高等學校に於ける音楽科の學習が理想的に行われた場合を豫想しての評價であるから、現在の段階からみると相当高度なものを要求していると考えられるであろう。従つて実情に鑑み適宜「中学校の音楽科」の項を参照利用せられたい。

(四) 藝能科 図画

┆ 図畫評價の基準

成績評價の基準を次の三項に置き図畫科に於ける一切の教育的効果を其の中に包攝させ、評價の抽象的直覺的に流れる弊を戒めると共に、徒らな分析による機械的處理を避けたい。特に注意すべきは、高等學校の課程は、小中學校の基礎的段階を経て、個性の伸張に重点を置くべき時期であるが故に、各項に亘り教師の一方的な主観や一面的な尺度によることなく、廣く個性の顯現に尊重の眼を向けたいことである。又他の教科の要請や生活への擴充を顧慮して、單なる図画科としてのみの獨善的評價に陥るべきでないことである。

(1) 理解 (技術、技巧の理解)

嚴密に言えば技術、技巧は創造と不離一体のものであるとも言えるが、特に圖畫的造形表現の一般的技術、技巧を抽出して評價する。仮に創意工夫に欠けても、技術、技巧に長ずる場合はある。それは創造的表現に取つても重要な要素であるのみならず、それ自体あらゆる生活面へ擴充活用される筈のものであるからである。素描、彩描、圖案、製図等に於ける形体、明暗、色彩に関する美學的乃至科學的理解と技術的表現力は勿論、描寫材料、用具に對する理解と驅使能力等に就て評價するわけである。

(2) 鑑賞 (鑑賞と生活化の能力)

單なるDilettanteや美術上の物識りを作るのではなく、健全な鑑賞力をもつて美術を生活に消化活用する能力、個人生活から廣く社會施設にまで及ぶ理解を要請したい。

即ち之が教養の度を評價するには

- (イ) 美術作品に對する美的價値の認識
- (ロ) 一般美術に對する知識
- (ハ) 美術に對する志向度
- (ニ) 美術の生活化に對する識見と實踐

に目標を置き度い。

(3) 表現 (創造的表現の能力)

造形教育の源泉を意味する図畫科に於ては、特に表現上の創造性を重視したい。自由にして豊かな創意と、個性的で價値に富んだ創造力を、人間性に求めるとすれば、図画科が最も適切で、最も使命的であり、評價の面でもこのことは強く且つ的確に把握し得る筈である。尙お、創造的表現と云つても、自然を離れては眞の創造はないので、あくまで忠實な自然への參見によつて生れた

創意創造を希求したい。それ故繪畫的表現に於てもRealisticなものとIdealistic乃至はExpressionalなものが當然共存する。更にDesignや造形の生活的活用面に於ても創意工夫に常に重点を置くべきである。

模写、臨画等は前項「技術、技巧」の習得として考えたい

㊦ 圖画評價の方法と注意

1. 方法

文部省編修の学習指導要領図工篇に示された各種の評價方法を、教材によつて適宜撰採採用すること

2. 注意

(イ) 技術、技巧の能力の考査

- 大膽率直な技巧、繊細な技術、簡潔な技巧、精緻な技術…等個性による相異に配慮すること
- 技術、技巧の習熟度と時間的能率
- 知識的理解としての習得

(ロ) 鑑賞と生活化の能力考査

- 個性としての愛玩理解の種々相
- 價値に對する敏感度
- 生活化への実践度
- 知的理論的理解

(ハ) 創造的表現能力の考査

- 自然の觀察研究は創意創造の基礎として尊重すること
- 表現に於て、靜的、動的、情緒的、理知的、素朴、精緻、明快、陰鬱、男性的、女性的、写實的、表現的、乃至客観性の度等個性的表現の相異に配慮すること
- 図案作図等生活化に關連深いものに就ては特に創意工夫を尊重すると共に実用への適合性に注意すること
- 既成美術作品、他人の作品に對する觀察研究はよいが、單なる模倣追隨の性格を戒めること

(五) 藝能科書道

㊦ 書道教育の目標

小學校では鑑賞眼や批判力が幼稚なため、却つて大膽に表現するが、中學校となると鑑識眼に比べて技能が之に伴わないため表現がその割に進まない。之が高等學校になると、眼も肥えてくると同時に技能的にも進んでくるものである。高等學校の書道科の目標は之から出発すべきである。

(1) 理解

小中學校では、理解方面にはあまり指導していないので特にこの方面の指導が必要である。

1. 書道と吾々日常生活との關係
2. 文化と書道との關係
3. 時代と書道の動きについて
4. 書道が図畫工作、或は音樂等の藝能に比して類似の点或は異つた点
5. 書道は東洋殊に日本と中國とのみにある特殊藝術であること
6. 書道の歴史に關する知識

7. 毛筆と硬筆との相違について
8. 用筆法、用語、用具に関する知識
9. 古法帳鑑賞の知識
10. 特に假名調和体に関する(和様)知識
11. 実用書と藝術書に関する知識
12. 書風に對する知識
13. 書道上達法に関する考え方。

(2) 鑑賞

1. 良い字か悪い字かの鑑別能力
(文字の構成、線状、墨色、筆意、性情、配字等について科學的な検討を行う)
2. 実用書と藝術書との區別の判断
3. 誤字、脱字、内容(文)に對する批判力
4. 書風に對する鑑識力
5. 古今の名跡、偉人の筆跡、古法帳の鑑賞能力。(その長所と短所)
6. 同学年生の作品の比較鑑賞の能力(優劣)
7. 書道を如何に實生活に取り入れるかの技術的判断力
8. 書道展覽會の鑑賞
9. 講習會に出席(理論及實技の鍊磨)

(3) 表現

大体中學校を一層深度を深めることになるが幅も廣めて教養として他の文化と同程度まで高めた。

1. 文字の結体構成について一層深く研究する。(間架、結構、粗密の度、長短、向背、字型、筆順等)
2. 線状についての研究
(細大、強弱、深淺、變化、暢達等)
3. 墨色についての研究
(濃淡、潤渴、餘白の生かし方等)
4. 筆意についての研究
之は筆勢ともいう。(運筆の呼吸、字の続け方、筆壓、筆の飛躍の度、速度等)
5. 性情についての研究
(之は一字一字にある表情を表現する場合で字の傾き、歪み等)
6. 配字についての研究
(大小、行間、統一、變化、調和等)
7. 模写、臨書、自運(藝術的、創作的)技法
8. 特に調和体についての技法
9. 実用書式を一層熟達させ、その應用に努める。(手紙、履歴書、標札等)
10. 藝術的書式の能力を養う
(色紙、短冊、扇面、條副等)
11. 楷書、行書、草書の一層の熟達と隸書も知らせる

二) 評價

(1) 理解に対する評価方法

1. 再生法
2. 選択法
3. 図解法
4. 訂正法
5. 排列法
6. 作文法

(2) 鑑賞力の評価方法

1. 並列比較法
2. 順列比較法

(3) 表現力に対する評価方法

1. 総合的な方法

技能と料紙其他から受ける全体的な(濃淡、配字、餘白、筆意、性情等)雰囲気によつて判定する方法

2. 科學的な方法

文字の構成、線状等一字一字について検討して判定する方法

3. 才能、努力等による進度によつての判定方法

(六) 藝能科工作

(一) 工作評價の基準

成績評價の基準を次の三項に置き、工作科に於ける一切の教育的効果を其の中に包攝させ、評價の抽象的直覺的に流れる弊を戒めると共に、徒らな分析による機械的處理を避けたい。又高等学校の課程は、個性の伸張に重点を置くべき時期であるから、各項に亘つて個性の顯現を尊重すると共に、工作科の特色たる生活面への拡充を尊重したい。

更に注意すべきは従來の美術的藝術的な観点に加えて機械工作的な科學性を重視したいことである。

1. 理解(技術、技巧の理解)

工作科は技術教育であるから、創造的表現の基礎としての技術技巧がなくては意味がない。よつて一般的な技術技巧の修練と、その活用の力を重視して評價したい。即ち教材によつて各種の技術が挙げられるが次の三点に要約して取扱いたい。

イ、材料駆使の技術

ロ、用具使用の技術

ハ、一般の機械に関する技術

但しこゝでも技術の個性的適合乃至専門化が考慮に入れられねばならない。

2. 鑑賞(鑑賞と生活化の能力)

鑑賞は美術品美術工藝品等の鑑賞理解のみならず、一般生活上の造形に就いて、正しい理解と認識、批判の能力、及び近代的科學に基く機械器具等の鑑別批判力をも鑑賞としての目標と考へたい。

かくて重要なことは、かゝる鑑賞批判の能力を以つて夫等のものを生活化する熱意と工夫を所謂鑑賞と不可分的に考へたいことである。

3. 表現(創造的表現の能力)

既成作品の模倣傳習は一般技術技巧の修得として考え、工作に於ては創造創作の造形的表現力並にかゝる性格の賦與に力点を置き、更に創意創造の働きとしての生活化を目標としなければならない。

表現の分野は次の三点に約要してよいであろう。

- イ、美術工藝的表現——藝術性
- ロ、一般生活上の造形表現——実用性
- ハ、機械工作的表現——科學性

(六) 工作評價の方法と注意

1. 方法

文部省編修の學習指導要領図工篇に示された各種の評價方法を教材によつて、適宜撰採採用すること。

2. 注意

評價にあつては三つの基準に於て述べたことに關し、各基準を通じ更に次の諸項に注意すべきである。

- (イ) 高等学校は個性的専門的學習の傾向を強く示すから、あくまで個性的特色を重視して評價すること。
- (ロ) 前項の場合偏狹に失せず一般工作技術に拡充される性格を持つておらねばならない。
- (ハ) 創造的表現と云つても、空想的奇抜を指すわけではなくて、あくまで健實な創意創造を意味すること。
- (ニ) 工作の特質として常に生活面に緊密に結合されていなくてはならない。
- (ホ) 従来ややもすれば筋肉的技術技巧にのみ終始す傾向があつたが、知的理解、理論的開明にも力点を置くこと。

(七) 家庭科

この欄は家庭科の學習成績について知識理解、技能能力、態度習慣、ホーム、プロジェクト実践力の面から評價する。

評價解説

(1) 知識理解

次の諸点について評價する。

- (イ) 社會の變動と家庭生活との關係の理解。
- (ロ) 社會環境と家庭生活との關係の理解
- (ハ) 家庭に於ける自分の位置の自覚。
- (ニ) よい家庭生活を營むに必要な知識技能の理解。

(2) 技能能力

次の諸点について評價する。

- | | |
|---------------|--------------------|
| (イ) 計 畫 力 | (ロ) 實 行 力 |
| (ハ) 正 確 性 | (ニ) 巧 緻 性 |
| (ホ) 速 度 | (ヘ) 經 濟 性 |
| (ト) 責 任 感 | (チ) 積 極 性 |
| (リ) 慎 重 性 | (ヌ) 協 力 性 |
| (ル) 清 潔 整 頓 | (ヲ) 鑑 賞 力 (比較觀察批判) |
| (ワ) 應 用 能 力 | (カ) 創 造 力 |
| (ヨ) 新 鮮 な 感 覚 | |

(3) 態度習慣

次の諸点について評価する。

- | | |
|--------------------|---------------|
| (イ) 向上への意欲 (進歩的意欲) | (ハ) 科学性、実証性 |
| (ロ) 実行性、持続性 | (ホ) 協調性、順應性 |
| (ニ) 責任感 | (ト) 明朗性 (社交性) |
| (ヘ) 奉仕の精神 | (リ) 清潔整頓の習慣 |
| (チ) 礼儀作法 | |
| (ヌ) 余暇の利用 | |

(4) ホーム、プロジェクト実践力

ホーム、プロジェクトの記録中の所見並びに評価を基礎資料として記載する。即ち学校で学習したことを自分の家庭、学校、社会にあらうように取り入れ、教師の指導と家族の協力を得て、一定の計画のもとに、家庭学校、社会生活の改善向上をはかる能力について評価するものである。

(八) 農業課程

中学校の職業・家庭科の評価方法に準じて行い、更に次項に留意する。

目標 理解 態度 実技と能力

H.P実践能力 (総合農業関係)

㊦ 理 解

- (1) 作物、家畜、樹木などの性状と、その自然的環境との関係の知識、理解。
- (2) 農業経営並にその他の経済生活と、その経済的環境との関係の理解。
- (3) 合理的・能率的且つ総合的な農業の基礎となる化学的・経済的・歴史的・地理的・知識理解
- (4) わが国の農業の特質とその重要性及び農業と他の産業との関係の理解
- (5) 郷土の農業の實態及びこれと関係ある色々な産業、職業、仕事についての理解

㊧ 態 度

- (1) 総てのものを一層役立つようにしようとし、また仕事を一層能率的に進めようとして、科学的、研究的に工夫する態度
- (2) 眞實なるものゝ姿をつきとめ、且つこれに従おうとする態度
- (3) 協力して農業やその他の産業の改良発達をはかろうとする態度
- (4) 自然の恩恵を感じ、自然の力を助けて作物、家畜を愛育する態度
- (5) 作物、家畜、工作物や仕事に愉快さを感じ、又農業や仕事を尊び、且つこれに喜びを感じ、楽しみながら自ら進んで励む態度

㊨ 実技と能力

- (1) 科学的、合理的且つ総合的に作物を栽培し、家畜を飼育し、森林を仕立て、農林畜産物を加工して利用する技術的能力
- (2) 農業や日常生活に必要な、簡単な工作物を製作する技術的能力
- (3) 農具その他のの道具を上手に使い、農業用その他の機械を正しく使う技術的能力
- (4) 農業経営やその他経済生活を、科学的、合理的且つ総合的に計画し、実践する能力
- (5) ホームプロジェクトを積極的に実践する能力及び態度

(九) 工、業 課 程

No. 1

課程	科目	目標	評 價 上 の 注 意 点
共 通	實 習	理解	技術的知識の有無深淺を知職方面から検査し評價する
		態度	極積的に実習しているか、創意工夫しているか、他人をよく共同しているか、根氣よくこつこつ努力しているか等について評價
		実技	技術の巧拙、轉業に對する能力の適否等を評價する
	製 圖	理解	製図に對する技術的知識、理解の程度を評價する
		態度	積極性の有無、基本的知識を如何に應用し創意工夫をしているか等を評價する
		実技	技術の巧拙、職業に對する能力の適否等を評價する。
機 械	機 械 材 料	理解	機械材料に關する基礎的知識についてこの理解度を評價する
		應用	基礎的知識と實際適用面との關係に對しての理解及應用能力を評價する
		態度	学習面の積極性及實際方面の関心の程度等を評價する
	機 械 工 作	理解	工作に關する基礎的知識の理解度を評價する
		應用	機械に關する各教科の知識を綜合して製作面に應用する能力を評價する
		態度	学習面の積極性及製作に對する意慾の程度等評價
	機 械 設 計	理解	設計に關する基礎的知識の理解度を評價する
		應用	各教科の知識を綜合して、實際に應用し、創造する能力について評價する
		態度	理論と實際に對する関心、学習面の積極性等を評價する
	原 動 機	理解	原動機に關する基礎的知識及經濟的社会的理解の程度を評價する
		應用	原動機に關する基礎的理論を實際面に應用する能力及創意工夫の能力等について評價する
		態度	理論と實際に對する関心、学習面の積極性等を評價する
機 械 各 種 機 械	理解	各種機械の基本的理論の理解程度を評價する	
	應用	綜合的な設計、工作に關する應用、創造の能力を評價する	
	態度	学習面の積極性及機械に關する関心の程度等を評價する	
電 磁 事 象	理解	電氣の基礎的理論を理解している深淺度を評價する	
	應用	基礎的理論の應用的創造的能力を評價する	
	態度	主として学習面における積極性を評價する	

No. 2

課程	科目	目標	評 價 上 の 注 意 点
電 氣	電 氣 機 械	理解	電氣機械の原理、構造の知的理解及びその経済的考察の深淺度を評價する
		應用	應用的創造的能力を評價する
		態度	主として学習面における積極性を評價する
	電 力	理解	強電力を取扱ふ分野における知的、社会的、経済的考察の深淺度を評價する
		應用	應用的創造的能力を評價する
		態度	主として學習面における積極性を評價する
	電 氣 通 信	理解	弱電流を取扱ふ分野における知的、社会的、経済的考察の深淺度を評價する
		應用	應用的創造的能力を評價する
		態度	主として學習面における積極性を評價する
電 氣 應 用	理解	電氣工學全般に亘る知的経済的社会的能力の総合的理解の程度を評價する	
	應用	特に應用面と經濟面との關聯性を考察する能力を評價する	
	態度	主として学習面における積極性を評價する	
工 業 學	工 業 化 學	理解	基礎的一般知識、社会的、経済的な理解の程度を評價する
		應用	應用的創造的能力を評價する
		態度	主として學習面に於ける態度及積極性を評價する
	化 学 機 械	理解	基礎的知識、社会的経済的理解の程度を評價する
		應用	主として化學工業に連關した應用的創造的な能力を評價する
		態度	主として學習面に於ける態度及積極性を評價する
	農 産 加 工	理解	基礎的知識、経済的社会的理解の程度を評價する
		應用	基礎的理論と實際方面との連關に關する應用的創造的能力を評價する
		態度	学習面積極性、實際方面への關心の度合等を評價する
	工 場 經 營	理解	基礎的知識社会的経済的理解の程度を評價する
		應用	基礎的知識を應用する能力を評價する
		態度	學習面における積極性、實際方面への關心の度合等を理解する

No. 3

課程	科目	目標	評 價 上 の 注 意 點
建	建 築 計 畫	理 解	建築設計に必要な知識と建築の各機能の理解の程度を評價する。
		應 用	各種基礎知識を総合し建築を計画創造する能力を評價する。
		態 度	建築に対する熱意と積極的な研究心等を評價する。
	構 造	理 解	各種構造理論及手法に関する理解の程度を評價する。
		應 用	基礎理論を実際に應用する能力及程度計算能力を評價する。
		態 度	積極的な研究心の程度を評價する。
	力 學	理 解	主として靜力學に関する基礎的な理解力の程度を評價する。
		應 用	一般的基礎力學を基として廣範圍に亘る構造物に関する應用力の程度を評價する。
		態 度	積極的な研究心の程度を評價する。
築	施 工	理 解	理論のみでなく實際面に對する知識の程度及周密な能力の程度を評價する。
		應 用	學理を基準とした合理的經濟的な能力を評價する。
		態 度	眞面目で眞剣で思索的であるか等を評價する。
	建 築 法 規	理 解	法の精神を會得し法的に如何に適用されているか等についての理解の程度を評價する。
		應 用	規規と實際適用面との關係についての理解の程度を評價する。
		態 度	學習に興味を持ち熱心で研究的であるか否かについて評價する。
土	構 造	理 解	構造物に働く力の概念についての基本的な理解度を評價する。
		應 用	構造物の構造各部に基本的知識を應用する能力を評價する。
		態 度	主として學習面における積極性を評價する。
	設 計	理 解	構造物の基本的、社会的な理解度を評價する。
		應 用	各教科で學んだことを綜合應用し、實際に設計する能力を評價する。
		態 度	主として學習面における積極性を評價する。
木	水 工	理 解	水に関する土木部門の水理學及工法につき基礎的知識の理解度を評價する。
		應 用	基礎的知識の種々面に對する應用能力を評價する。
		態 度	主として學習面における積極性を評價する。

No. 4

課程	科目	目標	評 價 上 の 注 意 點
	施 工	理 解	工事施工について各種目ごとに基本的な理解度を評価する。
		應 用	工事施工について各種目ごとに基本的知識を應用する能力を評價する。
		態 度	主として學習面における積極性を評價する。
染	織 物	理 解	各種織物纖維の基礎的知識社会的經濟的理解の程度を評價する。
		應 用	各種纖維の應用的創造的な能力を評價する。
		態 度	主として學習面における積極性誠實の程度を評價する。
	材 料	理 解	染色仕上に関する基礎的知識、社会的經濟的理解の程度を評價する。
		應 用	その應用的創造的な能力を評價する。
		態 度	主として學習面における積極性誠實の程度を評價する。
	染 色	理 解	各種纖維材料を用ひての紡績に関する基礎的知識社會的經濟的理解の程度を評價する。
		應 用	應用的創造的な能力を評價する。
		態 度	主として學習面における積極性、誠實の程度を評價する。
	仕 上	理 解	各種の系を用いて機織する時の基礎的知識、社会的經濟的理解の程度を評價する。
		應 用	應用的創造的な能力を評價する。
		態 度	主として學習面における積極性、誠實の程度を評價する。
紡 績	理 解	メリヤスに関する基礎的知識、社会的經濟的理解の程度を評價する。	
	應 用	應用的創造的な能力を評價する。	
	態 度	主として學習面における積極性、誠實性等を評價する。	
機 織	理 解	主として染料化學についての基礎的知識、社会的經濟的理解の程度を評價する。	
	應 用	應用的創造的な能力を評價する。	
	態 度	主として學習面における積極性、誠實の程度等を評價する。	
編 組	理 解	主として學習面における積極性、誠實の程度等を評價する。	
	應 用	應用的創造的な能力を評價する。	
	態 度	主として學習面における積極性、誠實の程度等を評價する。	
工 業	理 解	主として學習面における積極性、誠實の程度等を評價する。	
	應 用	應用的創造的な能力を評價する。	
	態 度	主として學習面における積極性、誠實の程度等を評價する。	
化 学			

(十) 商業課程

科目	目標	評 價 上 の 注 意 點
文書実務	理解	商業用文書を簡潔、正確、明確、迅速に作成する知識
	技能	印刷、謄寫、復写、筆記の技能 文書の取扱や整理を合理的に行ふ技能
	態度	文書に関する実習を通じて事務能率を増進する態度と習慣
珠算計及商算	理解	經營に必要な計算の処理法を理解し、それに関連のある商業法規商習慣などを通じて、これを活用する知識
	技能	計算手段としての珠算に習熟する技能
	態度	ものごとを計数を用いて合理的に処理する態度と習慣
タイプライティング	理解	タイプライティングの構造と機能に就いての知識
	技能	タイプライティングの技能に習熟し迅速正確に文書を作成する能力
	態度	機械を大切に取扱ふ習慣 タイプライターを用ひて事務能率をかためようとする研究的態度
速記	理解	速記技術の知識の理解
	技能	事務能率の増進のために必要な速記の技能
	態度	速記を用ひて事務能率をかためようとする態度と習慣
統計調査	理解	統計的研究法に関する知識
	技能	統計を諸種の調査に應用する能力
	態度	統計方法によつて社會現象特に經濟現象の実態を把握する態度
貿易実務	理解	國際的な取引について必要な知識
	技能	商業に関する學習によつて得たる知識や能力を貿易実務に依つて綜合する技能
	態度	貿易において特に信用を重んじ、公正を尊び正確迅速をはかる態度と習慣
商業実践	理解	商業の機能を遂行するために必要な各種の事務を合理的能率的に處理する知識
	技能	商業經營者として事務を実際に計画し實行する技能
	態度	經營体の組織の中で実際に仕事をする場合、相互に連絡し協力する責任。擔当事務を綜合的な商業機構の中で責任をもつて遂行する態度と習慣。職業を通じ社會に奉仕する態度

科目	目標	評 價 上 の 注 意
商業経済	理解	商業（機關商業を含む）の機能についての理解 企業の経営及び経営の組織、管理についての理解
	技能	企業経営者又は事務担当者として必要な技能 国民経済、世界経済の構成について理解し経済事象の動向を推理判断する能力
	態度	商業人として必要な尊敬、信念、責任、誠實等について習得せんとする態度。 我が國商業発展に奉仕する態度
金融	理解	経済社会における金融技能についての理解
	技能	金融的諸材料を蒐集し整理し之を應用する技能
	態度	金融現象を研究する態度 貨幣を重んじ信用を尊ぶ態度
経営	理解	企業の形態についての理解。資本と労働に関する知識
	技能	経営的諸資料を蒐集し整理し應用する技能 商業経営、産業経営に関する技能
	態度	経営技術に関する研究態度 労資問題に対する正しき研究態度
商品	理解	主要商品及資材の自然科学的、技術的、経済的特質の理解 日本及世界の産業構成の理解
	技能	産業事情を調査研究する能力及び之を科学的に観察する能力
	態度	諸現象を科学的に観察する態度。我國経済の自立方策を研究する態度
簿記会計	理解	簿記原理と知識を習得し基礎的な会計理論を理解すると共に 會計監査の基本的知識の習得程度
	技能	経営活動を金額によつて記録し計算し且つ整理する技能 帳簿その他の會計書類を習得し得る能力
	態度	経営活動を数学的に正確明瞭に処理する態度 簿記の知識及技能を日常生活に應用する態度と習慣
商業法規	理解	社会生活の規範である法の本質の理解 商業経済に關係の深い法規の理解
	技能	商業現象を法的に判断して商業活動の円滑をはかる技能
	態度	法的思考力を養い、紛争を合理的に處理する能力と態度
商業英語	理解	商業英語に關する基礎的知識
	技能	読み方、書き表し方、聴き方、話し方などの実用的技能
	態度	國際商業人としての活動的な態度 英語を通じて國際經濟關係を研究せんとする態度

科目	目標	評價上の注意点
商業 中國語	理解	中國語に関する基礎的知識
	技能	読み方、書き表し方、きき方、話し方などの実用的技能
	態度	中國語を通じ中國の商業經濟及商慣習を理解する態度 中國の文化、民族心理を研究する態度
備考 1. 上記科目以外の商業科目を教授する場合は適当に目標を設定のこと 2. 所見欄には生徒個人に対する絶對的評價を具体的に記入のこと		

(十一) 特別教育活動

高等学校では選択制と教科担任制が強化されるので、それに應じて特別教育活動の重要さが増加して来る。此の意味で評價目標を分析してかゝげた。

(1) 評價目標

(イ) ホーム・ルーム活動

- ホーム・ルームの諸活動に対して積極的であるか、無関心であるか。
- どんな役員に選ばれてどんな活動振りであつたか。
- ホーム・ルームの指導を通じて、どんな資質が発揮され伸ばされたか。

(ロ) 生徒會活動

- 生徒會の諸活動に対して積極的であるか、無関心であるか。
- どんな役員に選ばれてどんな活動振りであつたか。
- 生徒會の活動を通じて、どんな資質が発揮され伸ばされたか。

(ハ) クラブ活動

- どんなクラブに属しているか。
- クラブ内でどんな活動をしたか。

(2) 記入要領

(イ) 生徒の発達状況を評價目標に照して評價し、本人の特色を把握して簡潔な文章で記入する。

全部の項目にわたつて記入されることを本体とするが、特に特色が把握されない場合には空白となることも止むを得ない。

(ロ) 記入例

◎ホーム・ルール活動

- リクリエーションの係になつてからルームの事に関心が深まり協調性が出来て来た。
- 整頓の係に選ばれてから室員の作品を掲示する等、室の美化に成功した。
- 人前で意見を発表するようになり、発表の仕方も要領よくなつた。

◎生徒會活動

- 至つて無関心で、全々その値價を認めていない。
- 学校新聞の編輯委員、原稿を読み大意をとらえて標題をつけることが巧になつた。
- とかく教師に反抗し規則を無視し勝であつたが、決定する迄は随分自設を主張するが、定つた事には確實に服従するようになつた。

◎クラブ活動

- 数学クラブに属し数学史の研究をやっている。第二學期末の生徒集會の際、「円周率の歴史」について研究発表したが生徒に多大の感銘を興えた。
- 音楽クラブに属し、マンドリンを練習している。技術は本校随一である。

第七章 「個人的社會的公民的發達記録」欄の記入法

(一) 記入上の注意

1. 「社交性」から「余暇の善用」まで十五項目あるが、學年末にすべての項目が記入されなければならぬというわけではない。
2. 平素の記録や観察にもとづく要約を記入する
3. 記入にあつては四の評定尺度を参照する。その際5を優位とする5点法により評点欄へ記入する
5=秀、4=優（平均より上位にある者）3=良（大多数を含む）2=可（平均より下位にある者）
1=不可
4. 学級若しくはホーム・ルーム内に尺度となるような人物（スケール・メン）を選定し、それと比較して評定するのもよい方法の一つである。
5. 「目立つた事實」欄について
目立つた事實という以上、それが具体的個性的な記述であらねばならないと同時に、それは發達の全般的な姿を代表し得るような記述でなければならぬ。「實存したある特定の事件乃至はある一つの逸話」でなければならぬと局限して解釋することは不当でない。
要するに各項目についての平素からの事實の観察に基づいた豊富な多様な適切な記録の集積を資料として、それから全体的個性的發達の姿を代表するような記事をできるだけ具体的に記述するのが良策である。
6. 「余暇の善用」の下の空欄は、各学校において、必要に応じて利用すればよい。

(二) 評定尺度の利用について

1. 学級内若しくはホーム・ルーム内の正常普通と思われる生徒を3の段階とみてこの尺度を用いる。
2. 一つの項目にいくつかの記述尺度がある場合、ある生徒がそのいくつかの中の一つに該当しておれば、その段階点を興えるようにする。
3. ある生徒には同じような段階をあたえる傾向があるから、むしろ一つの事項について多人数を評定するようにする方が、一人について同時に多数の事項を評定するよりもよい。
4. 平素の記録を参照しながらこの尺度を用いる。
5. 評定をしたら、すぐ要録に評定点を記入する。

(三) 必要な實施計画

1. 記録集積に関する諸計畫

イ、行動の観察計畫

○擔任教師を中心とした協力教師のグループ計畫

記録は生徒の平素の行動の観察から主として得らるべきであり、このためには擔任教師を中心としてそれに協力する関係教師でもつて一定のグループが組織され、その會合が計畫されることが望ましい。

ロ、擔任教師による各種の方法の實施計畫、行動逸話記録法、面接法、作品法、情報法、質問紙

法その他テスト調査、実験等の実施

2. 「補助簿」様式の一例とその利用法

イ、様式例

個人的社会的公民的発達記録					
生徒名	項目	月日	事項	顕著な事実	品段 等階

ロ、使用上の注意

- 尺度によらず平素の観察記録用にあてる。
- 事項の欄には、「社交性」から「余暇の善用」に至る迄の十五項目のどれかを番號1・2・3……というようにか、もしくは略號(社・成・協……というように)で示す
(1=社=社交性、2=成=成功性 3=協=協調性)
- 顕著な事実の欄には、生徒が示した著しい事実をその都度記入する。
- 品等段階はその事項ごとに記入しておく方が後日の要約にあたって便利である。
同一人の同一項目にあたって多數評定してある場合は、評定値の算術平均を要録に記入する。

(四) 個人的社会的公民的発達の評定尺度

1. 社交性

(評定)

- 5. 誰とでも親しく交わる。
- 4. 多くの人と満足に交際する。
- 3. 友達の数は比較的多い。
- 2. 友達は少ない。
- 1. 全く孤独である。

2. 成功性

- 5. 多くの人々の協力を得て成功する。
- 4. かなり多くの人々の協力を得て成功することが多い。
- 3. 自分が常に交際している限られた人々の協力を得てわずかばかりの分野において成功する。
- 2. 他人からあまり協力を得られず成功することは少ない。
- 1. めつたに成功しない。協力も得られない。

3. 協調性

- 5. いつも進んでよく他人に協力する。
- 4. 進んで他人と協力することがある。
- 3. 求められると大抵は協力するが、進んで協力することはない。
- 2. 求められるとしぶしぶ協力することがある。
- 1. 他人にほとんど協力しない。

4. 尊敬の態度

5. 5. どんな人でも人として尊敬する。
 4. 誰かれの区別なく大抵は尊敬する態度を示す。
 3. 自分より優れた人は尊敬するが劣つた者は馬鹿にする。
 2. 自分より優れた人でもあまり尊敬しない。
 1. 人を尊敬する態度が殆どない。
5. 指導能力
5. 殆どすべての場合に統率することができる。
 4. かなり多くの場合に統率することができる。
 3. 少しの場合に統率することができる。
 2. ごく限られた場合にのみ統率することができる。
 1. どのような場合にも統率できない。
6. 責任感
5. 企てたことや引受けたことはたとひ責任を課せられなくても必ずやりとげると同時に失敗の責任を負う。
 4. やりとげなければならぬ任務はほとんどいつもやりとげる。困難な場合にも責任を果す。
 3. 自分の責任は大體果すが面倒になればしばしば投げ出す。
 2. 責任の伴う仕事はさけたがるよく言いわけをする。
 1. 責任観念が殆ど又は全くない。
7. 独立性
5. 自分の仕事は自信をもつて進んで自分で処理する。殆ど常に自主的な意見をもち発表することができる。
 4. むづかしいことでも自分で考え解決しようとする。反対があつても自分の意見を相当強く主張する。
 3. 自分にできそうなことは自分でするがむずかしくなると人にたよる。よく自分の意思は述べるが、人の意見によつて屢々動揺する。
 2. 人にいわれないと動かない。他人にたよりがちである。わずかの仲間の間以外では自信がない。
 1. 何事によらず他人にたよる。めつたに自分で考えようとしなぬ。人に何か言われるとすぐその通りになる。自分の言動に自信がない。
8. 創造性
5. 殆どいつも新らしいくふうをする。多くの意見や考えや行爲が独創的である。
 4. 多くのことに創意を示す。興味のあることにはしばしば創意のひらめきを見せる。
 3. 模倣的であるが時にはくふうもする。
 2. いつも模倣してめつたにくふうしない。いつも人の示唆に従う。
 1. 殆どいつも模倣的で自分でくふうしようとしなぬ。前例や模範がないと何事もできないのが殆ど常である。
9. 勤勉性
5. どんな困難にあつても最後まで仕事を満足にしとげる。
 4. 少しぐらいの困難にあつても大抵の仕事はしとげる。
 3. 困難でない仕事であればどうにかしとげる。
 2. 興味があるか激励にあえば少しはやるが、あまり続かない。

1. めつたに仕事を満足にしとおすことがない。

10. 親切

5. 多くの場合自分の利害をかえりみないで他人のために奉仕しようとする。

4. 多くの場合他人のためになるような気持で行動する。大多数の人に親切であるが時には好かない人を無視することがある。

3. 自分の利害を考えないで他人につくすことがある。自分の仲間や目上の人に親切であるが、貧しい人や不幸な人に対しては積極的に親切をつくさない。

2. 他人のことをかまわないことがある。自分に有利な時にはしばしば他人につくす。

1. 利己的で他人を困らせるようないじわるをすることがある。他人の成功をねたみ殆どいつも自分の都合だけを考える。

11. 明朗性

5. 常に楽しそうで活潑である。希望に満ち物事の明るい面ばかり見る。他人も愉快にする。

4. ほとんど常に朗かで希望にみちている。ちよつとしたことで、がっかりしても又すぐ元気になる。

3. 大ていの時は朗かであるが、思う通りにならぬ時には不機嫌なことがある。

2. 大ていは不機嫌で元気がよくない。たまに朗かになることもある。不明朗のためあまり人によい感じを與えない。

1. 一般に憂うつで悲観的で元気がない。他人を不快にする。

12. 判断力

5. 公平に考えて判断する。複雑な問題でもいろいろな面から考えて明確に判断する。

4. 感情や偏見にとらわれて判断をあやまることはあまりない。常識が豊かである。

3. 簡単な問題については判断できるが、複雑な場合は判断をあやまることがある。時には偏見にとられることもある。

2. 判断がにおくどちらかといえば不十分な判断になることが多い。屢々感情や偏見にとられる大事なことを見落すことがある。

1. 多くの場合考えが混乱したり偏見や感情にとらわれたり軽率に考えて誤つた判断をする。またはぐずぐずしていて判断がつかない。

13. 情緒安定感

5. よく自制して平靜な感情を失わない。めつたにおこらない。何か事があつても氣分の平靜を失わない。

4. 非常な特別の場合を除いては氣分の変りかたがあまり目立たない。殆ど常軌を逸するようなことはない。

3. 多くの場合平靜にしているが時々感傷的になつたり、おこつたり憂うつになつたり機嫌をわるくしたりする。

2. 屢々感情がみだれて泣いたりおこつたりさわいだりする。なんとなく不安そうで落付かない。

1. 感情が激発することが屢々ある。激しい恐怖心をもつたり常軌を逸したりすることがある。非常に氣分が變りやすいので人からいつも除け者にされる。

14. 正直な性質

5. 言っていることが絶対に信用できる。かげひなたが全くない。

4. かげひなたがあまりない。自他共に関係していることについては大体ごまかさないうで正直に考えることができる。

- 3.都合のわるい時には嘘をついたりごまかしたりすることがある。ときには言わないでかくしておくことがある。
 - 2.しばしば嘘やごまかしをするので人からあまり信用されない。自分に不利なときには大ていごまかす。よくほらを吹く。
 - 1.いうことが一つもあてにならない。嘘をついたり、カンニングをしても平気である。ほとんどいつも自分や他人のために都合のよいようにものごとを見せかけようとする。
- 15.余暇の善用
- 5.ひまなときは健全な運動や娯楽、有益な読書などで過す。一人でも余暇を有効に過せる。広い趣味をもっている。
 - 4.大ていは余暇を健全に過しているが、然しときには度がすぎたり一つことにかたよつたりする。また一人でも大体左のしめる。
 - 3.大して悪い遊びはしない。ときに有効に余暇を過すこともあり、ときに無益に過すこともある。ときには問題になるような娯楽もする。
 - 2.あまり感心できないことで暇を過すことが多い。趣味がほとんどない。しばしば問題になるような娯楽をする。人に迷惑をかけることが多い。
 - 1.暇があるとぶらぶら無意味に過すか、不健全な遊びをする。人を誘つてよくないことをさせる

第八章 「困難およびその適應についての記録」 欄の記入法

(一) この記録の目的

生徒の學習過程や公民的な性格の發達過程において、困難を感じ悩んでいる諸問題を把握し、診断することによつて適当な処置を講じ、その生徒の個性を十分に發揮させることを目的とする。

(二) 困難についてどのようなことを見出せばよいか。

1.學習過程においては、學習能率、學課のかたよりと好き嫌い、教師に對する好き嫌いと成績との関係、生徒の性格に關係して學習成績のあがらないこと、家庭環境の影響によつて學習成績のあがらないこと、身体の欠陥のために學習成績のあがらないこと、知能の低いために學習成績のあがらないこと等を發見する。

2.公民的な性格の發達においては、VT項の行動特徴の各項目にあらわれている目立つた困難な事實についてその原因を診断する。

例えば、協調性がなくて常にけんかをする生徒が、家庭的な愛情の欠除から來ているとか、環境が粗雑であつて幼少時から乱暴に育てられているというような場合、又盜癖兒が經濟的な欠陥、知能的な欠陥から來ている等の場合である。

(三) 取つた對應處置について

學級、學校、家庭において、どのような処置を、いつ、とつたかをできるだけ具体的に記入することが必要である。

例えば、教師に對する好き嫌いのために、學習成績のあがらない生徒については、その先生を嫌いな理由を尋ねて、間違つていることは正し、正しいことは教師側において反省すると共に、当人の持前の個性を明にして、決してその學科に對する性能がないのではないということを知らせ、努力をさせる。

又例えば、経済的欠陥から起つた盗癖児については、それが他の欠陥（知能的欠陥、身体的、性格的欠陥等）によつて起つていないことをよく調査し、経済的な貧困が如何に苦しいものであるかということを理解同情すると共に貧困こそ人間を練磨するものであり、このような逆境にたえてしつかりした独立心が形成されるのだということを知らせて激励すると共に、生活保護法によつて処置をとつてやる。

(四) 将来必要とする處置について

学校、家庭において、その生徒を十分に伸ばすために、将来とられなければならない處置を記入すること。

例えば、家庭の貧困のために、早く個性を発見し職業教育を施し卒業と同時に就轉させる職業を見出すことを考慮する如きである。

記載の一例を示すと次のようなものとなるであろう。

	主 な 困 難	取 っ た 対 應 処 置	将 来 必 要 と す る 處 置
一	協調性がなく、けんか好き 盗癖性	家庭的な愛情について 両親に反省させ、本人 に反省表をつくらせた 経済的欠陥を激励環境 にかえる 生活保護法適用申請	個性の発見 選 職

第九章「履習單位の記録」欄の記入法（高等學校のみ）

- (一) 「科目」欄には、生徒各自の履習した科目名を記入する。その際、必修科目の左端に※印をつけておく方が便利である。
- (二) 年間23單位以上を履習するわけであるが、年により履習科目数変動する事を豫想して、學年別の横線は印刷しなかつたから、記入者において適宜横線を引くこと。その際各學年の最下の處に單位数の小計欄を必ず設けて、当該學年における履習單位の合計を記入すること。
- (三) 「成績の摘要」欄には当該學年における學習成績の大要を簡潔に記入する。その際、前學年との比較も考慮に入れて記入する。

(四) 記 入 例

学 年	科 目	單 位	成 績 の 摘 要
一	※國 語甲	3	國語成績優秀、特に理解力に秀ず、体育は身体虚弱のためか、あまり興味がないようである。
	“ 乙	2	
	※一般社會	5	数学も成績悪し。中學以來不得意なり。
	※体 育	3	体育、數學の指導を要する。
	※一般數學	5	一般家庭は大分興味をもつて勉學する。
	外 國 語	5	他は普通。
	一 般 家 庭	7	

	音 樂	2	
	小計	32	
二	※國語甲	3	國語は成績優秀。創作を好むようになった。体育は、身体がやゝ健康になつたので、段々興味をもつて來た。物理も成績よし。理科系がよくないようだ。音楽は好きだが成績は普通。他は普通
	〃 乙	2	
	※人文地理	5	
	※物 理	5	
	※体 育	3	
	音 樂	2	
	保 育	2	
	外 國 語	5	
		27	
三	※國語甲	3	國語は依然として優秀。 体育も段々よくなつて來た。 食物も家庭で研究していると見えて、大變良い。
	〃 乙	2	
	※時事問題	5	
	※体 育	3	
	音 樂	2	
	書 道	2	
	食 物	5	
	外 國 語	5	
	小計	27	
合 計		86	内必修 (43)

著 者 愛媛縣教育委員會
愛媛縣教員組合
發行者 薦 田 太 郎

氏名

V. 履習單位の記録

VI. 個人的社會的公

學年	科	目	單位	成績の摘要	行動特徴	一		二
						目立つた事實	評定	目立つた事
					1 社交性			
					2 成功性			
					3 協調性			
					4 尊敬の態度			
					5 指導の力			
					6 責任感			
					7 獨立の質			
					8 創造性			
					9 勤勉性			
					10 親切			
					11 明朗性			
					12 判断力			
					13 情緒安定感			
					14 正直な質			
					15 余暇の善			
総計				内必修 ()				

校生徒指導要録

學年	一	二	三	學年	一	二	三
担任印				組			
				番号			

の記録

得点	知能率又は知能偏差値	知能年齢 生活年齢	所見
得点	品等段階又は(相當學年)	クラス中の百分率順位	所見
得点	品等段階	所見	

Ⅲ、職業的發達記録

事項	學年	一	二	三
職業的興味及び趣味				
1 学校内における職業的経験				
2 学校外における職業的経験				
3 職業的技能及び適性				
4 生徒の希望職業及び学校				
5 両親の希望職業及び学校				
6 生徒の職業又は学校選定				
7 生徒の選定に対する保護者の意見及び理由				
8 生徒の選定に対する教師の勸告及び理由				
9 学校における補導及び援助				
10				

の要約

運動および作業の能力	矯正あるいは助長處置

本要録の記入については、「愛媛縣中學校高等學校生徒指導要録の手引」を参照のこと。

愛媛縣高等學校生徒

I.

校名					
ふりがな 生徒氏名					性別 男 女
生年月日	昭和	年	月	日	
本籍	縣	市郡	町村	番地	
現住所		市郡	町村	番地	
		市郡	町村	番地	
保護者 氏名			續柄 ()		
			職業		
保護者の住所		市郡	町村	番地	
學 歴	學校名	入學年月日	轉退學年月日	卒業年月日	
出 欠 記 録	事項 年間授業時數	出席時數	欠席時數	欠課時數	欠席のおもな理由
	一				
	二				
	三				

I. 標準検査の記

知能検査	名稱	検査年月日	當時の學年	得点	知能
學力検査	名稱	検査年月日	當時の學年	得点	品等 ()
適性検査 その他の調査	名稱	検査年月日	當時の學年	得点	品等 ()

II. 身体的發達の

事項 學年	發育の狀態	健康の狀態	運動作業

生徒指導要録

學年	一	二	三	學年	一	二	三
担任印				組			
				番号			

記録

Ⅲ, 職業的發達記録

点	知能率又は知能偏差値	知能年齢 生活年齢	所見	學年	一	二	三
				事項			
				職業的興味及び趣味			
				2 学校内における職業的経験			
				3 学校外における職業的経験			
				4 職業的技術及び適性			
				5 生徒の希望職業及び学校			
				6 両親の希望職業及び学校			
				7 生徒の職業又は学校選定			
				8 生徒の選定に対する保護者の意見及び理由			
				9 生徒の選定に対する教師の勸告及び理由			
				10 学校における補導及び援助			

点	品等段階又は(相當學年)	クラス中の百分率順位	所見

点	品等段階	所見

要約

運動および作業の能力	矯正あるいは助長處置

本要録の記入法については、「愛媛縣中等學校生徒指導要録の手引」を参照のこと。

愛媛縣中學校生徒

I.

校名						I. 標準検査の記録							
ふりがな 生徒氏名	性別				男 女						知能検査	名称	検査年月日
生年月日	昭和	年	月	日			學力検査	名称	検査年月日	當時の 學年	得点	品	
本籍	縣	市郡	町村	番地			性適 格性 検査 その 他の 調査	名称	検査年月日	當時の 學年	得点	品	
現住所		市郡	町村	番地									
		市郡	町村	番地									
保護者 氏名			續柄	()									
			職業										
保護者の 住所		市郡	町村	番地									
學 歴	學校名	入學年月日	轉退學年月日	卒業年月日	II. 身体的發達の要								
					事項	發育の狀態	健康の狀態	運動 作業					
					學年								
出 欠 記 録	事項 學年	年間授業日數	出席日數	欠席日數	欠課數	欠席のおもな理由							
	一												
	二												
	三												

【百分順位】

n人中のh番は 100人中の $\frac{100h-50}{n}$ 番に当る

n \ h	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
25	2	6	10	14	18	22	26	30	34	38	42	46	50	54	58	62	66	70	74	78	82	86	90	94	98									
26	2	6	10	14	17	21	25	29	33	37	40	44	48	52	56	60	63	67	71	75	79	83	86	90	94	98								
27	2	6	9	13	17	20	24	28	31	35	39	42	46	50	54	57	61	65	69	72	76	80	83	87	91	94	98							
28	2	5	9	13	16	20	23	27	30	34	38	41	45	48	52	55	59	63	66	70	73	77	80	84	87	91	94	98						
29	2	5	9	12	16	19	22	26	29	33	36	40	43	47	50	53	57	60	64	67	71	74	78	81	85	88	91	95	98					
30	2	5	8	12	15	18	22	25	28	32	35	38	42	45	48	52	55	58	62	65	68	72	75	78	82	85	88	92	95	98				
31	2	5	8	11	15	18	21	24	27	31	34	37	40	44	47	50	53	57	60	63	66	69	73	76	79	82	86	89	92	95	98			
32	2	5	8	11	14	17	20	23	27	30	33	36	39	42	45	48	52	55	58	61	64	67	70	73	77	80	83	86	89	92	95	98		
33	2	5	8	11	14	17	20	23	26	29	32	35	38	41	44	47	50	53	56	59	62	65	68	71	74	77	80	83	86	89	92	95	98	
34	1	4	7	10	13	16	19	22	25	28	31	34	37	40	43	46	49	52	54	57	60	63	66	69	72	75	78	81	84	87	90	93	96	99
35	1	4	7	10	13	16	19	21	24	27	30	33	36	39	41	44	47	50	53	56	59	61	64	67	70	73	76	79	81	84	87	90	93	96
36	1	4	7	10	13	15	18	21	24	26	29	32	35	38	40	43	46	49	51	54	57	60	63	65	68	71	74	76	79	82	85	88	90	93
37	1	4	7	10	12	15	18	20	23	26	28	31	34	37	39	42	45	47	50	53	55	58	61	64	66	69	72	74	77	80	82	85	88	91
38	1	4	7	9	12	15	17	20	22	25	28	30	33	36	38	41	43	46	49	51	54	57	59	62	64	67	70	72	75	78	80	83	86	88
39	1	4	6	9	12	14	17	19	22	24	27	30	32	35	37	40	42	45	48	50	53	55	58	60	63	65	68	71	73	76	78	81	83	86
40	1	4	6	9	11	14	16	19	21	24	26	29	31	34	36	39	41	44	46	49	51	54	56	59	61	64	66	69	71	74	76	79	81	84
41	1	4	6	9	11	13	16	18	21	23	26	28	31	33	35	38	40	43	45	48	50	52	55	57	60	62	65	67	70	72	74	77	79	82
42	1	4	6	8	11	13	16	18	20	23	25	27	30	32	35	37	39	42	44	46	49	51	54	56	58	61	63	66	68	70	73	75	77	80
43	1	4	6	8	11	13	15	18	20	22	24	27	29	31	34	36	38	41	43	45	48	50	52	55	57	59	62	64	66	69	71	73	76	78
44	1	3	6	8	10	13	15	17	19	22	24	26	28	31	33	35	38	40	42	44	47	49	51	53	56	58	60	63	65	67	69	72	74	76
45	1	3	6	8	10	12	14	17	19	21	23	26	28	30	32	34	37	39	41	43	46	48	50	52	54	57	59	61	63	66	68	70	72	74
46	1	3	5	8	10	12	14	16	18	21	23	25	27	29	32	34	36	38	40	42	45	47	49	51	53	55	58	60	62	64	66	68	71	73
47	1	3	5	8	10	12	14	16	18	20	22	25	27	29	31	33	35	37	39	42	44	46	48	50	52	54	56	59	61	63	65	67	69	71
48	1	3	5	7	9	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	37	39	41	43	45	47	49	51	53	55	57	59	62	64	66	68	70
49	1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48	50	52	54	56	58	60	62	64	66	68
50	1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23	25	27	29	31	33	35	37	39	41	43	45	47	49	51	53	55	57	59	61	63	65	67
51	1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23	25	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	43	50	52	54	56	58	60	62	64	66
52	1	3	5	7	9	11	13	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	39	41	43	45	47	49	51	53	55	57	59	61	63	64
53	1	3	5	7	9	10	12	14	16	18	20	22	24	26	27	29	31	33	35	37	39	41	43	44	46	48	50	52	54	56	58	59	61	63
54	1	3	5	7	8	10	12	14	16	18	19	21	23	25	27	29	31	32	34	36	38	40	42	44	45	47	49	51	53	55	57	58	60	62
55	1	3	5	6	8	10	12	14	15	17	19	21	23	25	26	28	30	32	34	35	37	39	41	43	45	46	48	50	52	54	55	57	59	61
56	1	3	5	6	8	10	12	13	15	17	19	21	22	24	26	28	30	31	33	35	37	38	40	42	44	46	47	49	51	53	55	56	58	60
57	1	3	4	6	8	10	11	13	15	17	18	20	22	24	25	27	29	31	32	34	36	38	39	41	43	45	46	48	50	52	54	55	57	59
58	1	3	4	6	8	10	11	13	15	16	18	20	22	23	25	27	28	30	32	34	35	37	39	41	42	44	46	47	49	51	52	54	56	58
59	1	3	4	6	8	9	11	13	14	16	18	20	21	23	25	26	28	30	31	33	35	36	38	40	42	43	45	47	48	50	52	53	55	57
60	1	3	4	6	8	9	11	13	14	16	18	19	21	23	24	26	28	29	31	33	34	36	38	39	41	43	44	46	48	49	51	53	54	56

21 22 23 24 25	26 27 28 29 30	31 32 33 34 35	36 37 38 39 40	41 42 43 44 45	46 47 48 49 50	51 52 53 54 55	56 57 58 59 60
82 86 90 94 98							
79 83 86 90 94	98						
76 80 83 87 91	94 98						
73 77 80 84 87	91 94 98						
71 74 78 81 85	88 91 95 98						
68 72 75 78 82	85 88 92 95 98						
66 69 73 76 79	82 86 89 92 95	98					
64 67 70 73 77	80 83 86 89 92	95 98					
62 65 68 71 74	77 80 83 86 89	92 95 98					
60 63 66 69 72	75 78 81 84 87	90 93 96 99					
59 61 64 67 70	73 76 79 81 84	87 90 93 96 99					
57 60 63 65 68	71 74 76 79 82	85 88 90 93 96	99				
55 58 61 64 66	69 72 74 77 80	82 85 88 91 93	96 99				
54 57 59 62 64	67 70 72 75 78	80 83 86 88 91	93 96 99				
53 55 58 60 63	65 68 71 73 76	78 81 83 86 89	91 94 96 99				
51 54 56 59 61	64 66 69 71 74	76 79 81 84 86	89 91 94 96 99				
50 52 55 57 60	62 65 67 70 72	74 77 79 82 84	87 89 92 94 96	99			
49 51 54 56 58	61 63 66 68 70	73 75 77 80 82	85 87 89 92 94	96 99			
48 50 52 55 57	59 62 64 66 69	71 73 76 78 80	83 85 87 90 92	94 97 99			
47 49 51 53 56	58 60 63 65 67	69 72 74 76 78	81 83 85 88 90	92 94 97 99			
46 48 50 52 54	57 59 61 63 66	68 70 72 74 77	79 81 83 86 88	90 92 94 97 99			
45 47 49 51 53	55 58 60 62 64	66 68 71 73 75	77 79 82 84 86	88 90 92 95 97	99		
44 46 48 50 52	54 56 59 61 63	65 67 69 71 73	76 78 80 82 84	86 88 90 93 95	97 99		
43 45 47 49 51	53 55 57 59 62	64 66 68 70 72	74 76 78 80 82	84 87 89 91 93	95 97 99		
42 44 46 48 50	52 54 56 58 60	62 64 66 68 70	73 75 77 79 81	83 85 87 89 91	93 95 97 99		
41 43 45 47 49	51 53 55 57 59	61 63 65 67 69	71 73 75 77 79	81 83 85 87 89	91 93 95 97 99		
40 42 44 46 48	50 52 54 56 58	60 62 64 66 68	70 72 74 76 78	79 81 83 85 87	89 91 93 95 97	99	
39 41 43 45 47	49 51 53 55 57	59 61 63 65 67	68 70 72 74 76	78 80 82 84 86	88 89 91 93 95	97 99	
38 40 42 44 46	48 50 52 54 56	58 59 61 63 65	67 69 71 73 75	76 78 80 82 84	86 88 90 92 93	95 97 99	
37 39 41 43 45	47 49 51 53 55	57 58 60 62 64	66 68 70 71 73	75 77 79 81 82	84 86 88 90 92	94 96 97 99	
36 38 40 42 44	46 47 49 51 53	55 56 58 60 62	63 65 67 69 71	72 74 76 78 80	81 83 85 87 88	90 92 94 96 97	99
35 37 39 41 43	45 46 48 50 52	54 55 57 59 61	62 64 66 68 69	71 73 75 76 78	80 82 83 85 87	89 90 92 94 96	97 99
34 36 38 40 42	44 46 47 49 51	52 54 56 58 59	61 63 65 66 68	70 72 73 75 76	78 80 82 83 85	87 89 90 92 94	95 97 99
33 35 37 39 41	43 45 47 48 50	52 53 55 57 59	60 62 64 65 67	69 70 72 74 75	77 79 81 82 84	86 87 89 91 92	94 96 97 99
32 34 36 38 40	43 44 46 48 49	51 53 54 56 58	59 61 63 64 66	68 69 71 73 74	76 78 79 81 83	84 86 88 89 91	93 94 96 98 99

あ じ が き

まえがきにものべたように、この手引は早急の間にあわせるため、生徒指導要録制定委員会を設けて、その委員会により、執筆を依頼したものであります。水産科等については今後更に加筆いたしたく、各方面の御高見をいただいて、本手引をより善きものとして、ゆきたいと存じます。

おわりに、各委員の方々の氏名をのせて、感謝の一端にかえたいと存じます。

愛媛縣中学校高等学校生徒指導要録制定委員会委員

委員 長	教 育 長	杉 野 常 夫
副委員 長	学 校 教 育 課 長	川 口 昇
委 員	指 導 主 事	溝 田 源 作
	〃	森 元 四 郎
	〃	山 口 龜 吉
	〃	會 我 靜 雄
	〃	八 木 茂 行
	〃	伊 藤 友 秀 雄
学 校 衛 生 技 師	唐 津 池 和 雄	
補 導 主 事	菊 田 辺 義 治	
〃	田 条 野 正 喜	
〃	渡 部 正 喜	
〃	山 本 キ ヲ	
〃	神 尾 光 慶	
〃	今 村 茂 男	
〃	〃 (温泉教育事務所)	
教 育 研 究 所 長	仙 波 川 太 郎	
〃 所 員	小 村 上 芳 夫	
〃 〃	小 清 水 忠 一	
〃 〃	吉 本 一 勇	
松 山 市 御 幸 中 学 校 長	園 部 茂 光	
〃 教 諭	高 橋 頼 寛 一	
〃 〃	松 本 一 行	
松 山 市 勝 山 中 学 校 長	向 井 中 健 一	
松 山 市 垣 生 中 学 校 長	野 中 健 一	
松 山 市 城 東 中 学 校 長	谷 大 岡 白 貞	
〃 教 諭	大 森 白 尙 敬	

松山東高等学校教諭	吉	浦	潤	二
" "	三	原	藤	美
松山南高等学校教諭	越	智	勝	利
" "	湯	山		勇
" "	林		利	德
今治南高等学校長	野	沢		浩
愛媛師範学校教授	藤	谷	庸	夫
" "	越	智	政	雄
" "	海	稻	知	加
" "	野	村	正	三
" 附属中学校教諭	仙	波	盛	久
" "	宮	本	博	一
縣教員組合文化部長	薦	田	太	郎
" 婦人部長	友	岡	初	子

THE STUDENT COUNCILPREFACE

The fundamental assumptions of democracy are that men are competent to govern themselves and that their efforts will result in ^{an} organization "of the people, by the people, and for the people." Such an organization necessitates appropriate political and social ~~standards~~ ideals, understandings, and habits, and a willingness to live, as well as die, for the common good. These elements are not in the original nature of man. They must be developed. This development comes most easily and surely through practice in a setting that resembles that of ultimate citizenship. Student participation in school government represents such a setting.

The purpose of this pamphlet is to define the ideals and place of student participation, to establish justifiable principles, and to provide definite suggestions for its organization, administration, procedures, and activities.

PART I-----THE OBJECTIVES OF STUDENT PARTICIPATION

The Main Purpose of Education--It is a well established fact that society organizes and supports a school system in order to perpetuate itself by training individuals for future successful membership in it. This membership in a democracy we call citizenship. Never has it been more important, and never before has there been such an insistent demand for this type of training by the schools. So today it is widely recognized and accepted that the primary function of the school is to turn out good citizens.

However, in reality, the school cannot turn out good citizens because its students are not yet legal members of society; not yet being of age they cannot vote, they cannot own property, they cannot be

taxed, and they cannot bring suit in court. In short, because they are minors they cannot become ~~citizens~~ full-fledged citizens of their own country. Obviously, then, the only thing the school can do is to give them training through subjects, opportunities, settings, and activities that will fit them for successful adult life.

Specific Objectives of Student Participation--The council is not an administrative device. The school's administration can discharge most of the responsibilities of the council more quickly and efficiently than it can.

The main purpose of the council, like the main purpose of all other justifiable activities about the school, curricular or extra-curricular, is to educate those who participate, either directly or indirectly.

Basic Elements of Good Citizenship--If the primary function of the school is to develop good citizenship, then the primary function of any and all its parts is to assist in this development. Hence, assisting in the development of good citizenship is the primary function of the student council plan.

Good citizenship, too, is composed of elements which must be produced and articulated. Among the most important of these are:

1. A Knowledge of the Theory of Democracy

The student council represents an excellent device through which important knowledge of democracy can be made meaningful, colorful, and vital, not only because it is based upon democratic principles and procedures but, just as important, because its interests and activities are those of student life. Participation in an election campaign, evaluating the qualifications of candidates, voting, representing the group, discussing proposed policies, serving on committees, discharging

assigned responsibilities--these and similar activities represent a ~~more~~ practical and firsthand experience with democracy which gives real meaning to it.

2. Sentiments of Law and Order

Everyone from birth till death is ordered by established customs and legal enactments. Because man's very existence depends upon law and order it is regrettable that this expression has become so formal ~~that~~ and that often, apparently, it implies unpleasantness, restraint, and control, instead of reasonable mechanisms for establishing social ~~xx~~ welfare.

Naturally where there is law and order there must be discipline to prevent breakdown and resulting lawlessness and disorder. In general discipline may be of two kinds, external, which is based upon fear, and internal, which is based upon pride.

In no way whatever does this mean that school authorities should surrender their legal and moral obligations for effective discipline; in fact, they could not, even if they wanted to. However it does mean that wherever expedient, that is, wherever possible, wise, and justifiable from an educational point of view, the students should help set the goal of efficient self-discipline and make serious attempts to achieve it. In such a setting the student has a clear conception of the laws needed, helps to set them, and because he has had a voice in making them, he is vitally interested in seeing them observed.

Here is another most important area of student-council relationships. The promotion of systematic street and corridor traffic, of good order in the assembly and at games, of courtesy at parties and other social events, and safety on the playground and about the school, as well as the promotion of neatness and the proper use of school materials and equipment,

to mention a few possibilities, all represent fields of activity in which thoughtful respect for law and order can be functionally developed.

3. Intelligent Respect for Authority --In every group there is ~~recognized~~ recognized authority. It must not be thought that all authority is in the form of regulations; some of it is in the form of traditions, customs, attitudes, and beliefs which have become established.

~~Authority may be exercised intelligently~~

Although intelligent respect may imply, to some extent, a questioning attitude toward authority, or the wisdom of its promulgations and ~~its~~ actions, yet it does not mean that its every order should be debated and ~~it~~ discussed by those for whom it is designed. Intelligent obedience must ~~im~~ imply some considerable respect for the purposes, abilities, and sincerity of those in authority. On the other hand, knowing something about the reasons for certain regulations and customs should mean that the individual will all the more appreciate the necessity for them and have a further interest in helping to observe them. Intelligent respect means that the individual should obey sincerely and conscientiously to the best of his ability. Too often this important point is lacking in a discussion of this subject.

Because the student recognizes himself as a part of the school's democracy instead of an isolated individual, his obedience to the rules of his governing body, even in those matters in which he may personally disagree, will tend to be all the more complete, because he appreciates the necessity for such rules for the good of the school as a whole.

4. Increasing Self-direction--In childhood the individual is ~~controlled~~ controlled and dominated by his parents, and rightly so, because he lacks the knowledges, ideals, and habits which make for competency and independence. In adulthood he possesses these essential elements which make for self-direction.

However, it is quite impossible for the individual suddenly and

successfully to step from the restricted world of childhood to the unrestricted world of adulthood. The learning, accepting, and practicing necessary represent a slow process of work.

Training for effectual social living may come very naturally and easily through a miniature society in which the individual learns the pertinent knowledges, accepts the worthy ideals, and actually practices the habits necessary for successful membership. The student council idea is built around these three processes; through them the student becomes increasingly self-directive, irrespective of whether he is a member of the central body or only of the general organization that sponsors and supports it.

Further, this school setting provides for increasing self-direction or development, in the matter of individual interests and abilities. One student has an interest and some native ability in originating, another in organizing, another in executing, another in expressing, another in publicizing, and another in evaluating, and the discovery and development of these potentialities are basic responsibilities of successful student cooperation because successful student cooperation depends upon them.

5. Intelligent Leadership and Followership--In every group, from a disorganized and frenzied mob to an orderly and dignified legislative body, there are leaders, those who give direction to thought and action; and it is reasonable to state that the more intelligent and resourceful the leaders are, the more successful will their groups be.

In a democratic setting, leaders come into power through election on the basis of a recognition of their abilities. It is of utmost importance that they be carefully selected. Successful democracy depends upon skilled leadership and this, in turn, must rest upon intelligent followership, the source of its authority and support.

Intelligent followership implies a double responsibility; first, a wise selection of leaders and, second, sincere and successful attempts

to follow their leadership.

Intelligent leadership and followership, like all other characteristics of good citizenship, must be developed; they do not spring unprompted into being.

The council idea provides natural settings for training in both leadership and followership. These are functional settings because they concern the student and his activities. For instance, an elected leader who is autocratic in his methods, arbitrary in his decisions, careless in his commitments, and erratic in his judgments will soon discover that he must improve or he will be replaced; and the follower whose home room, class, activity, or school suffers from his vote or his ineffectual attempts to follow good leadership will soon recognize that the fault is his own. In both cases it is almost inevitable that the student shall recognize the disastrous consequences of his unwise or careless efforts. And, just as important, later he will have other opportunities in which he can do something about it.

6. Cooperation

This is another important element of democratic living which must be developed because, although in man's original nature there is a desire to associate with others and share their activities, there are no fully developed skills which result in effective cooperation. Cooperation means combined efforts for the common good. The cooperator will, usually, benefit from the united effort, but for the moment at least the immediate objective is a benefit for the group. Through the student-council organization, there are hundreds of opportunities, large and small, for the practice of this important element of good citizenship.

However, there is another phase of cooperation. Far too many discussions stop with student cooperation; too few of them reflect student-

teacher cooperation. This, too, is highly important.

There are many opportunities in the extracurricular field ~~for the~~ for the development of better student-teacher relations and mutual cooperation, especially where the council promotes, unifies, and coordinates these activities, because each of them is usually sponsored by a teacher. In the nonacademic settings the teacher is no longer a task-setter, nor the student a task-doer; rather they work together for the common good, the students furnishing the drive, the student contacts, and the execution, the teacher providing the experience, the administrative contacts, and the judgment.

7. Morale

Closely related to cooperation is group spirit or morale. Morale is essential to any kind of organized effort. A school in which each ~~xxx~~ teacher and student bustled around to his individual classes with little or no interest in his institution as a whole, not feeling himself as a vital part of the school, would not be a school worthy of the name.

Two elements are basic to morale, something to be proud of or loyal to, and a feeling of personal responsibility. A team whose record was poor could never have group spirit, and neither would it if its record were good but unfelt by ~~its members~~ or those closely associated with them. Every student in the school can thrill to his team's record even though he does not play on the team because he participates indirectly as a member of the school which his team represents. This idea of personal feeling is basic.

The function of the student council in this connection is to develop and coordinate opportunities for many different kinds of participation, not only in games, competitions, programs, public events, publications, and similar activities but also in such projects for the common good as orderly corridor traffic, safety on the streets, neatness of the school, thrift in the use of materials and equipment, courtesy to visitors, and

3. The Faculty Should Be Fairly Represented--If the council is to ~~xx~~ represent a genuine cooperative ~~effort~~ school effort, then teachers as ~~well~~ well as students should be elected to it.

If the council is to represent the whole school and the faculty is a part of the school, then the faculty members should be elected the same as the student members. An equitable representation of the faculty, on perhaps a teacher-faculty ratio somewhat similar to a student-body ratio, through a regularly held election, adds dignity and importance, and helps to prevent misunderstandings and petty jealousies.

4. The Average Student Should Feel His Representation--Usually the smaller the group represented the greater is the probability that its members will feel their representation, and, just as important, their own responsibility, and it is easy for the individual to initiate an idea or action for consideration through his representative.

5. The Average Student Should Feel His Own Responsibility--The council member should represent not merely his group but the thought of his group. In order to develop this essential felt responsibility in the school citizen, the council should encourage the discussion of pertinent problems in the home rooms, and, if practicable, in separate groups, even in classes in civics and problems of democracy. The purpose of participation is to educate electors as well as electees; and this purpose will not be achieved unless suitable opportunities are provided for it.

6. In General There Should Be No Restriction on Council Membership--~~Representation~~

Sex--There should be no restriction as to sex in selection of members to the student council. Sex is hardly a factor in determining ability to represent a group successfully.

Marks--Should passing marks in all subjects be required? Should higher than passing or average marks be required?

There is considerable logic in requiring the council member to discharge satisfactorily his first major school responsibility, that of carrying his regular academic load successfully but there is no justification for requiring a better than passing or better than average mark for council membership.

Approval--^{Any}~~the~~ plan requiring the approval of the home room teacher, principal, or the entire faculty or anyone else before the student is allowed to become a candidate for council membership is entirely illogical and undemocratic. Moreover, such a plan is unsound educationally because it represents a denial of opportunity to learn.

Reelection--Should reelection be allowed? There is no justification for restriction. In all likelihood, because of the frequent changes in the personnel of groups, reelection will rarely become a problem.

7. Each Member of the Council should Assume Some Definite Responsibility--The individual member of the council must have responsibilities in order to maintain his self-respect, interest, and morale. He must feel a personal challenge. In the council and its subdivisions there are many places for many helpers and many different kinds of skill. An important duty of the council is to ensure that these abilities are ~~not~~ discovered and properly capitalized. |

8. Each Committee or Subgroup Should Be Held Strictly Accountable for Its Particular Responsibility--A committee without a definite responsibility is a handicap to any organized body because it will soon ~~either~~ either (1) lose interest and spirit, or (2) impatient for action, trespass on the areas of other groups. This point cannot be overemphasized; the ~~job~~ job first, and then the committee to do it, instead of the reverse. One good method of keeping committees alert is to require a report from each ~~one~~ once a month or oftener. Any self-respecting committee will strive to have something worth bringing to the attention of the council and will

consider a statement as "the committee has nothing to report" as evidence of its own failure. A staggered schedule of these reports, so that not ~~at~~ all of them come at every meeting, will help to prevent this order of ~~xxxx~~ business from degenerating into pure routine. Further, such a plan will bring a wholesome spirit of competition into the picture.

9. The Council Should Be Neither Too Large Nor Too Small--The council should be large enough to provide felt representation, to include a variety of interests, abilities, and competencies, and to furnish an equitable load for all of its members; and be small enough to handle its business with efficiency and dispatch. This problem of size must, of necessity, be settled by the individual school.

10. The Duties and Responsibilities of the Council Should Be Specifically Defined--The council is a discussion group with legislative, judicial, and executive powers and duties and hence the boundaries must be set so that this body may develop to the proper edge of its area and at the same time stay within it. In a democracy the establishment of checks and balances is as necessary as the establishment of duties and responsibilities.

The rights, privileges, duties, and responsibilities of the student council are only delegated by the head of the school, who cannot escape his own legal and moral responsibility. The delegation is usually through some form of properly authorized and formally adopted constitution. This subject will be discussed more in detail later.

11. The Principal Should Retain Veto Power--Because the principal is legally and morally responsible, under the superintendent and board of education, for everything that goes on in the school, it is only reasonable that he should have final authority on any matter that concerns it. The entire school, teachers and students must realize that authority is not unreservedly given but merely delegated to the council. Such a recognition should not make the council less responsible, but

more responsible, and also cause it to be more careful in its deliberations and its actions in order to avoid veto. Such deliberations should, in turn, reduce to a minimum the number of times which the principal should be forced to exercise his right of veto.

On the other hand, the principal himself has a considerable responsibility. In the first place, if he vetoes frequently he will discourage the council, and some of its members may take an unwholesome ~~xxx~~ attitude toward the administration. However, occasionally failing to veto some measure which the principal knows will not be successful is educative for both the council members and those who elected them, because it places the responsibility squarely upon them.

Recommendations^{suggestions and contacts} of the principal should be made through the faculty members of the council, for if the council is charged with the responsibility for coordinating the various activities of the school, the principal should act through it; this is courteous and businesslike and proves the principal's confidence in this body.

12. The Council Should NOT Be Considered a Troubleshooting Body-----
Unless intelligent and positive steps are taken to prevent it, there is a danger that the teachers and students may get the idea that the council is a sort of dumping ground for all the many little disagreeable tasks ~~xxx~~ about the school, an organization whose main duties are largely those of trouble-shooting. Although undoubtedly in any council's schedule of activities there will be those that represent repairs, yet mending damage is only a part of its responsibilities. The council's main job is construction, plus the restoration that keeps the structure in good order.

13. The Council Should NOT Be Considered a Disciplinary Body-----
If the council undertakes to handle disciplinary matters, it is very probable that it will become so sidetracked on this activity that it will neglect more constructive projects. If the council becomes a disciplinary

body, there is danger that it will be too busy to do anything else; if so, it will lose standing in the school.

The handling of cases of violations of regulations concerning student activities is probably an entirely logical and justifiable responsibility of the council, BUT it should be accomplished through a special committee or court instead of by the council itself. In such an arrangement the council may act as a reviewing body and probably should in cases involving major violations.

Provisions for handling cases of discipline, IF such provisions appear to be desirable and desired, should come late, not early, in the council's development. Many councils have disintegrated and been abolished because they assumed a sort of police function from the very beginning. Successful discipline requires an understanding and skill which inexperienced students do not possess.

14. The Cooperative Aspects of Participation Should Be Continually Emphasized--The council should constantly reflect cooperation in both its activities and its talk. It need not harp continually on this ideal, but at the same time it should not entirely forget to talk about it. Actions speak louder than words, but there are plenty of times when words will help. In this connection it is imperative that the council understand that there are two kinds of cooperation, (1) cooperation of the student body with the council, the type most frequently discussed, and (2) cooperation of the council with the student body, which is just as important.

15. The Council Should NOT Attempt to Carry on All of the Activities Itself--Occasionally, a council assumes that it alone should be responsible for initiating, organizing, promoting, and handling all the activities of the school. This is a mistaken conception of the council's place and duty. Nearly all school projects can be carried out much more economically and successfully by the organizations to which they logically

belong. The council's job is to suggest, stimulate, encourage, and assist in every way possible.

16. The Council's Financial Policy Should Be Well Organized and Supervised-- The financial administration of activities represents one of the most bothersome problems in a modern school, not only because of the large total amount of money involved, but also because of the great number and variety of ways in which it is handled. Most of the criticisms of school activities have been due, directly or indirectly, to the loose handling of funds. Properly raising, handling, and disbursing funds are essential parts of any activity program--and these together represent a device which may be used effectively in developing the proper kind of program and giving it balance. This is true especially where the control of finance is centralized in the council. Even at best, finances are dynamite and hence should be most carefully handled and supervised. This topic will be discussed in more detail later.

17. The Machinery of the Plan Should Be Simple-- The plan developed should be simple enough to be easily understood and administered, and direct enough to be of immediate and appreciable influence. This means that the major part of the student effort should be spent on the program rather than on the machinery. Complicated systems of participation should be avoided.

18. Council Meetings Should Be Held Regularly and on School Time-- The scheduling of council meetings on school time will (1) guarantee the presence of all members, (2) officially recognize and sanction the program, (3) give it importance and dignity, (4) ensure good teacher and student attitudes, and (5) bring a correlative demand that the teachers' and Students' time be well invested. The students will not take the council seriously unless the administration and faculty do.

The time of meeting of the council should be kept sacred to council activities; no members should be excused for any other school purpose,

curricular or extracurricular. ↓

19. Council Meetings Should Be Open to All Who Care to Attend-----

The student or teacher who helps to elect members to the council has the right to attend the meetings of this organization. Such visits should be highly conducive to the development of the interest and education of the visitors. Occasionally, it may be advisable for the council to hold a closed session, but this practice should not be adopted as a general policy.

20. The Necessary Facilities and Equipment Should Be Provided-----

The council should have a regular place for its meetings. The room should be accessible, well lighted, equipped and ventilated. A private file should be provided for the council's books, correspondence, notes, communications, forms, and reports. All necessary implements for a business meeting should be provided. Having a permanent place for this material will make for efficient procedure in using it.

21. Continual Study and Adaptation Should Be Made--All the changes that take place in the school must be reflected in the adjusted ideals, policies, and programs of the student council. No plan of participation can ever be permanent. Last year's council may not fit this year's school any more than last year's shoes will fit this year's student. Possibilities of change require continual study in order that (1) they may be recognized and understood, and (2) the necessary adaptations in participation machinery may be made.

22. The Reasons for Success and Failure Should Be Analyzed--Often success brings an emotional thrill of encouragement, and little else; and often failure brings a feeling of discouragement, and little else. In both instances, something very important is missing. A mere recognition of success does not necessarily guarantee a repetition of that success, nor does a recognition of failure mean a future avoidance of it.

Knowing the reasons for present success will help to make it

permanent, and a success is a real success only when it can be repeated later. Similarly, knowing the reasons for a present failure ~~helps~~ helps guarantee a future success. In reality, a failure is a failure only when it is not capitalized in the direction of a future success; which is another way of saying that, where properly appreciated and capitalized a failure represents one of the best educational opportunities there is.

23. No Other Organization Should Be Allowed to Usurp the Council's Rightful Place in the School--The student council is the only organization in which the whole school is represented. No other organization should be permitted to become a competitor of the student council/

24. Too Much Should NOT BE Expected of the Council--The teacher or ~~admi~~ administrator who expects to democratize the school in a few months, or semesters, or even years, is certain to be disappointed. After all students are but children, inexperienced and immature, and it is unreasonable to expect adequate self-government at their hands. Student government is not an end, but a process; it will never be, nor can be, expert government.]

25. The Council Should Give Continuous Publicity to Its Ideals, Activities, and Problems--The fact that a school's population is constantly changing means that there should be a continuous program of education designed to acquaint the new teachers and students with the theory of the plan and its local application. This program of education can be promoted through the home room, assembly, bulletin board, exhibits, and demonstrations, and the school publications. An impressive ⁱⁿ ~~re~~ installation service represents a fine device for this purpose. Also, a continuous program of education is necessary in order that the parents and patrons understand and appreciate what is being attempted. This program of community education is absolutely essential when participation is first being planned, but it is also important after this organization has been effected.

PART III--THE STUDENT COUNCIL ORGANIZATION

Student Councils may be classified on three bases:

1. source of membership
2. responsibilities assigned or accepted
3. general structure or organization

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

Source of Membership--Under the best plan, the representatives are elected from the home rooms or similar groups or, in the case of small schools, from the classes or from the school at large. XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

This plan has far more to commend it than any other plan of selection of XXXX members of the student council. It (1) provides representation for every student in the school; (2) therefore tends to XXXX interest each student and make him feel his individual responsibility; (3) represents unspecialized interests, therefore all activities, or the XX school as a whole, consequently providing for proper development, balance and coordination; (4) provides unrestricted opportunities for every bona fide member of the school to vote and hold office; (5) allows for an XXXXXX equitable proportionate representation of the various units; and (6) is simple and easy to understand.

Responsibilities Assigned or Accepted--The general council is the one usually meant by the "expression "student council". It is a XXXXXXX general central group of students and teachers which represents the entire school. It has final responsibility, except for the principal's veto, for the initiation, development, coordination, supervision, and evaluation of all the organizations and activities of the school which, according to the constitution, have been assigned to it. It is most usually a single body, although it can be and should be composed of various kinds of elements: committees, subcouncils, etc.

General Structure or Organization--The single-house council is the simplest form of council organization. In this there is but a single central body, the size of which usually, but not always, depends upon the size of the school. This type of organization is usually found in the upper grades of the elementary school, the junior high school, and the smaller senior high schools, but it also found in some larger schools. In fact, it is to be found in schools that elect representatives from more than one hundred home rooms. In size and power the single house varies all the way from a small group, committee, or cabinet having responsibility for a single activity such as assembly programs, traffic police, or social events, to a large highly organized group responsible for all the activities of the school.

The advantages of this single-house plan of council organization are easily seen: (1) it is simple and direct, involves no complicated procedure and therefore fosters efficiency in organization and work; (2) it is easy to understand and consequently no time need be lost in making explanations interpretations, or adjudications; (3) because responsibility is ~~definitely~~ definitely placed, there can be little or no "passing the buck"; (4) it provides for a direct and close contact between the council and represented groups; and (5) meetings are easily arranged.

PART IV--INITIATING THE COUNCIL

To be a success, a council must be properly designed and equipped, but just as important, it must be properly started and kept going. How to initiate the council is the subject of this part of this pamphlet. Various other sections of the pamphlet will tell how to keep it going successfully.

The Necessity of a Felt Need--Many student-council failures are due to the fact that the system was planned largely by the principal, or by the principal and the sponsor-to-be, with relatively little or no assistance from the students, and in response to no direct demand from the school as a whole.

The foundation of democracy is consent of the governed. A democratic form of government cannot be imposed from without; it can come only in response to a definite demand from within the group. Such a demand must be based upon a thorough understanding of the purposes and details of the plan and an appreciation and acceptance of the duties and obligations which it will bring.

No administrator, teacher, or even small interested group of students, can ever successfully force a council upon a school, because no such individual or group can ever give the intelligent consent necessary. Although it is unreasonable to expect that this demand will ever be entirely unanimous, it is reasonable that it must be and can be a solid majority. There should exist a need for the council before attempt is made to establish one.
~~is made to establish one.~~

Strange as this may seem, this felt need will have to be originated and developed. How can this need be developed? Through education and again, strange as it may seem, by beginning with a study of the participation idea itself.

It is assumed that never will a student council be organized unless there already exists classes, clubs and home rooms democratically. 9r-19-

ganized. Where they have not been so organized, they should be, because the proper place to begin a school-wide participation plan is in these smaller quite similar settings. From such settings, properly capitalized, it is comparatively easy to effect a smooth transition into the larger unit of the school as a whole.

Social studies classes may be utilized to develop the student council idea. The student-council idea represents a topic through discussion of which democratic principles and concepts may be made clear and personally accepted.]

Education of the Faculty--A favorable attitude on the part of the faculty is essential to the success of the plan because every teacher will have contacts with it and will be in a strategic position to encourage or discourage it. This favorable attitude must be built upon a basis of comprehensive knowledge and accurate appreciations; it can never emerge from a principal-imposed or student-group-imposed system.

A quite proper method of beginning this program of faculty education is for the principal to appoint a committee of teachers whose training, experience, personality, and open-mindedness, are most competent to give the subject adequate and fair consideration.

The second step in this program is the education of the entire faculty. The committee assumes the responsibility for this. Committee materials, as well as the results of the group's study, may be made available to the faculty. This program must be unhurried, and ample opportunity for free discussion both for and against the plan should be provided. In no case should the faculty be made to feel that the principal or the committee is forcing action on the issue. At the same time it should be able to understand and appreciate the significance of participation, and also catch some of the enthusiasm of the committee's members.

After the faculty has learned something about and presumably to some extent accepted the participation idea, it will promptly face the practical

question " Just how would it work out in our school?" The answer to it will necessitate a survey of the local setting, including such elements as precedents, prejudices, and past experiences; faculty interest and approval; teacher and student leaders available; community approval; equipment and material available; school activities which might be concerned; necessary limitations of authority; delimitation of fields of activity; proper approval by educational authorities; sponsorship; details of representation; organization, meetings, etc.; and the methods and materials of desirable publicity.

This survey should be carefully made, preferable by the entire faculty instead of by the committee alone. The entire faculty is in better position than a committee to know conditions and students. If all teachers have an opportunity to suggest possibilities, and probably the majority of them will, they will feel much more interested in the ~~plan~~ subject. Undoubtedly there will be some competent training and experience which is not represented on the committee. J

This procedure of educating the faculty first is thoroughly sound because every teacher in the school will have to take an attitude toward the plan and answer students' and patrons' questions concerning the general idea as well as possible applications of it in the school. This is a much better foundation than can be built on the interest of the principal and a few student leaders, or one or two teachers and such a group.

All education, including that of teachers, is a very slow and tedious process, and this program should not be rushed. It should be continuous and progressive so that the interest of the faculty may not be ~~lost~~ lost, and momentum may be capitalized but it should be unhurried. This program of faculty education may require a whole semester, or even two or three semesters but, if carefully designed, it will represent time well invested.

Education of the Student Body--After--NOT BEFORE--the faculty has ~~xx~~. become thoroughly acquainted with the ideals, materials, and procedures of the participation idea and has considered the possibilities of its local application, comes the education of the students themselves.

Whereas in the case of the faculty this was a dual program, with the student body it is three-headed: the education of a smaller group of student leaders, the education of representatives of the various democratic units of the school, and finally, the education of these units through their representatives.

1. STUDENT LEADERS--A group composed of recognized student leaders, not too many, is called together by the principal, or by the faculty committee with the principal's official approval, and this group, led by the ~~xxxxxx~~ committee, makes a study of the idea of participation, the plans of organization, activities and other details. This committee outlines the purpose of the meeting, arouses the curiosity of the students, and then makes available the material which had been collected and used earlier with the teachers. The students are asked to read this material carefully, think about it, and come prepared to discuss it at the next meeting, say a week later. As before, the main object here is to acquaint the students with the participation idea, and not until this acquaintanceship has been established is the discussion allowed to center around the local school.

If possible, the group accompanied by some of the members of the faculty committee, should make visits to other schools where its members can sit in at council meetings and talk with teachers and students. Following this period of theoretical instruction, the attention of the group is directed to the local possibilities along the ^{lines} suggested previously. Of course, no definite organization is planned. However, out of these discussions should begin to emerge a pretty clear idea of

what might be ^Suitable and what might be unsuitable.

2. STUDENT REPRESENTATIVES--A series of meetings should be arranged between the already trained group of student leaders, the faculty committee and the representatives of the major democratic units of the school, say the home rooms. In general, the education of this group follows the lines suggested for the other three groups, faculty committee, faculty, and student leaders, centering largely around informal discussion. Because of the size of this group, more formal meetings may be necessary, but it is well to remember that an important part of such sessions is ample opportunity for asking questions and discussing freely. Here too, the general idea of student participation is talked of first and the possibilities of local application second. The aim is ~~not~~ not only to interest and enlighten the representatives, but also to make them competent missionaries when they return to their own units.

3. STUDENT UNITS--The next step in this process is the education of the entire student body through the representatives. This step should not be ~~made~~ undertaken until the representatives, like the student leaders, the faculty, and the faculty committee in turn before them, have become familiar with the purpose and general details of the plan so that they are equipped to lead wholesome discussions of it. Finally, as before, when the group has been grounded in the basic ideas, it is led to think in terms of local application.

Before an educational campaign as outlined above is conducted, the school will not feel a need for participation because it knew nothing ~~about~~ about the idea and so of course could not envision its possibilities. Following this campaign as outlined, the school cannot help understanding the participation plan and also appreciating how it would ~~fit~~ fit into the local setting. This understanding and appreciation naturally result in a demand for it, and this demand is the felt need required.

Education of the Community--The third main group which must be educated in the participation idea is that composed of the parents and patrons of the community. Too often in school affairs this group is neglected and the result, especially if some rather new proposal is being promoted, is either an apathetic attitude or downright opposition, both of which are detrimental to school morale and to the plan being suggested. Community support is necessary and in the case of the new, this means enlightened support.

Such understanding and support can be developed through the programs of the PTA, bulletins from the principal, school and public newspaper articles, special assembly programs to which parents and patrons have been invited, and the students themselves.

Developing the Constitution--After the school has been brought to an understanding of the basic idea of participation, and the necessary felt need has appeared, inevitable there will come a demand for the adoption of the plan. Hence, a constitution for the body must be drawn up. In it the areas of the council responsibility are staked out, organization is described, and authority is officially given and recognized.

The entire school will serve under this constitution and therefore the school should have the right to participate in its development, as well as the right to adopt it. But the school as a unit is too large and cumbersome and consequently a smaller group of students and teachers should have the responsibility for leading this development. The group may well be the one that sponsored the education of the school in the participation idea, together with the representatives of the various units, if there are not too many of these. The entire group studies and discusses the various possibilities, decides upon the basic features of the plan, and then commissions a smaller group to put these into definite form as a tentative constitution.

After this constitution has been put into definite form, it should be shown to the principal, the final authority, before it is further ~~discussed~~ discussed or made available to the various units of the school. Always, the final reaction and decision of the principal should be obtained before the tentative constitution is given further consideration. ~~Oh,~~ Obviously, there is no such thing as adopting a constitution over the ~~princ~~ principal's head.

After the tentative constitution has been developed by the group and approved by the principal, it should be taken to both the faculty and the student body for further discussion. The constitution should be mimeographed and distributed so that each person concerned will have an opportunity to see it. The representatives should take it to three various groups, explain it, and invite criticisms or objections, which means, incidentally, that these representatives must be thoroughly familiar with its contents. If constructive suggestions arise they are noted by the representatives and carried back to the central group where they are given serious consideration. In case of important changes the constitution, or the amended sections of it, is again returned to the units for final discussion before adoption.

In order to avoid later amending, this consideration process should not be hurried. Amendments to a constitution should not be impossible, but too frequent amending is evidence that the plan was not completely and clearly thought out originally.

Adopting the Constitution--When the tentative constitution appears ~~fin~~ finally to be in good shape, it is then ready for adoption by the school in a special election. This election should be an important and dignified event. Formal printed or mimeographed ballots should be used. Suitable publicity, officially designated polling places, ballot boxes, and election officials will help to make it a real event in the life of the school. The final results may be announced in the assembly or posted

on the bulletin board. As soon as practicable after adoption, the constitution should be printed in an attractive booklet and distributed to the students and teachers.

Initial^{-tion} Organization--The constitution has now been adopted but as yet there is no official student organization, so effecting one becomes the next order of business. This initial organization is directed by the original faculty-student group. According to the provisions of the constitution, the necessary election of council members is held. These elections should be as definitely formal as they will be when the organization is really under way. Such elections should not be scheduled immediately; sufficient time should be allowed so that the necessary campaigns within each unit may be organized and conducted.

When finally named, the council members assemble at the call of the president, if he is elected by the school, or that of the central faculty-student group, if the president is to be elected by the council ~~itself~~ itself. In the latter case a temporary chairman is appointed to handle the council's election of its president. Upon election the president proceeds at once with the election of the other officers, or, if the council is large, postpones this election until the group has ~~had~~ had ample opportunity to study its material.

It is unlikely that the president will be able to appoint his committees immediately because, in all probability, ~~he~~ he will need time to study the constituency of his group, confer with the various members, and evaluate the abilities represented in it. Further, the appointment of ~~the~~ these committees will, to some extent at least, depend upon the activities to be first undertaken by the council. The council's initial meeting or two can be used in discussing the various possibilities and in deciding upon first projects.

fully discharge specific responsibilities individually delegated to you?

Possible Weaknesses of the Installation Ceremony-----

1. The service may become too tedious. A program does not have to be long in order to be impressive. A twenty-minute ceremony is preferable to one two or three times as long, because it can maintain interest.
2. The ceremony may be too formal and complicated. Dramatic features should be avoided. Dramatics may detract from, rather than enhance, the main idea of the occasion.
3. Kneeling, bowing, carrying and passing candles, and wearing robes and like things may cause the situation to become ludicrous. Make the ceremony simple.
4. ~~The symbols used should not be inappropriate.~~ ~~only~~ The gavel is the symbol of modern group leadership, and this may be suitably presented to the president either by the principal in the case of a newly formed council, or by the retiring president in the case of an already existing organization. ¶

First Work of the Council--Once the council has been properly elected organized, and installed, it should begin some constructive piece of work immediately while school interest and enthusiasm are still high. A favorable school and community ~~xxxxxxxx~~ ^{sentiment} toward the council is absolutely necessary to its success, and because the body is closely watched by these two groups, its first efforts are most important.

The newly organized council is much more likely to err in attempting to do too much than it is in attempting to do too little. One small well-done job which is easily recognized by the school is worth more than a dozen jobs only partly or ineffectually completed. Because of their greater maturity and judgment, the faculty members of the council will probably have to assume the responsibility for putting the

to be successful, strong, or good, should be remembered and repeated in later activities, and those which appear to be less successful, weak, or bad, which should be remembered and avoided the next time. Although such an appraisal is important in all council work, it is especially important when the council is just getting under way. Detailed suggestions for making such evaluations will be given later.

PART V-----CONSTITUTION

In a democratic form of government the purposes of the plan, the sources of authority, the rights, privileges, duties, and responsibilities of both electors and electees, and the organization, powers, and activities of the central group must be designated, described, or defined, and these ends are accomplished through a formally accepted and adopted constitution.

PRINCIPLES OF CONSTITUTION CONSTRUCTIONParticipation Plan

1. Every ~~XXXXXXXXXX~~ Should Be Based upon a Written Constitution-----Needless discussions and misunderstandings over authority and responsibility will be avoided, a better knit organization will be developed, and standing and distinction will be given to the participation plan when a written constitution is in existence.
2. The Constitution Should Fit the Local Situation-----A school may justifiably imitate the general form of constitution, but the details of the plan should represent the needs of the local setting.
3. The Constitution Should Be as Simple as Possible-----The size and type of constitution will depend upon the size and type of the organization planned. It should be ~~simple~~ ^{complete} enough to cover all ~~needed~~ necessary details, but simple enough to be easily understood by the average student.

Short sentences, sections, and articles, each confined to a single idea, and numerical designations for each article and section, help to give the impression of simplicity. A number of shorter articles and sections is preferable to fewer longer ones. All articles should be properly titled or headed. It cannot be overestimated that,

like the council itself, the constitution is not an end, but a means to an end.

4. The Source of Authority Should Be Indicated.---Because the participation plan rests upon delegated authority, the source of this authority should be indicated in the constitution.

5. The Constitution Should Be Positive, Not Negative.---The constitution should give the impression of positive and constructive ~~mak~~ policies instead of the opposite. When negative ideas are necessary, they should be expressed in clear but not too harsh terms.

6. Serious Study Should Precede Final Adoption.---The constitution is not something to be written out and handed to the school in a "here's your constitution" manner. Because it represents the entire school, all teachers and students should have an opportunity to study it, criticize it, suggest changes, and in other ways attempt to improve it. This can be done properly through the various organizations which are, or are to be, represented in the council. *J*

A good procedure for the development of this instrument is the election or appointment of a central committee to make a survey of the local needs and a study of typical constitutions. A proposed instrument is then drafted and distributed to the school for study and criticism. When advisable, the necessary modifications are made before the constitution~~x~~ is offered for final ratification. Some schools ~~xxx~~ even try out the constitution for a semester or two before finally adopting it. This procedure will help to avoid ~~embarrassing~~ embarrassing and confidence-destroying errors or weaknesses.

7. The Constitution Should Be Published.---Publishing the constitution and making it available to all the members will give it dignity and significance, make the school more participation conscious, and clarify thinking on purposes, organization, and

include a statement of the qualification of this membership. The following examples show several methods of expressing this idea;

All teachers and students members of the student body and ~~faculty~~ faculty of the _____ School shall be members of this organization.

Every student at the time of his registration as a member of this school shall automatically become a member of this association and remain so until his graduation or until he shall discontinue his connections with our school. All members of the faculty shall also be members of this association.

POWERS: This area is the heart of the participation plan, and consequently a great deal of care should be used in defining it and also in describing it in the constitution. The powers and responsibilities of the council may be indicated in two ways:

1. Through a general statement such as the following;

This council will have the right and power to develop policies, set standards, and to make and enforce any rules necessary for the betterment of the school's life, interests, and activities.

2. By specifically indicated and numbered sections of the article.

- a. To develop and adopt such by-laws as may be necessary, provided they do not conflict with the elements and spirit of this constitution.
- b. To organize, promote, and supervise general and special elections; provide certified registration lists, polling places, ballots, officials, and all other necessary equipment, material and personnel.
- c. To create, authorize, supervise, and coordinate committees

- for specialized activities or services.
- d. To issue, renew, and, if necessary, revoke organization charters; and to promote and coordinate organization activities.
 - e. To initiate and approve necessary legislation.
 - f. To encourage and limit participation in extracurricular activities by means of a point system.
 - g. To develop and establish sound centralized financial policies and procedures.
 - h. To establish and enforce regulations for assembly, study hall, corridors, cafeteria, school grounds, social events, and public functions.
 - i. To consider, upon being properly petitioned, policies, activities, and changes recommended by students and teachers.
 - j. To appoint necessary officers or committees to interpret the various provisions of the constitution.
 - k. To develop and administer a system of awards.
 - l. To promote respect for school and private property.
 - m. To authorize, sponsor, and supervise drives and campaigns.
 - n. To appoint survey and investigation officers and committees.
 - o. To provide for referendum and recall elections.
 - p. To pass such emergency measures as may be necessary.
 - q. To recommend to the attention of the faculty and administrators matters which are outside its own area.
 - r. To investigate and report on matters especially referred to it by the faculty and administration.

- s. To originate and formulate any policies in the area of student activities which will make for more wholesome school citizenship.
- t. To give school and community publicity to the council's policies and activities.

The main advantage of including a list of specialized powers can be easily seen. These responsibilities will have to be defined at some time or other anyway, and deciding upon them beforehand and including them in the constitution will mean fewer conflicts and misunderstandings than if they were developed after the constitution was adopted. Such specifications will also help to clarify the status and function of the council in the minds of all concerned.

ORGANIZATION: This article should include at least three sections, (1) organization of the entire student body, (2) qualifications for council membership, and (3) general organization of the council itself. A brief explanation will indicate the material of these three sections.

1. Organization of the Entire School;--This should state the basis of representation, the groups, classes, clubs, activities, home rooms, etc., from which council members are elected.

2. Qualifications for Council Membership;--This section indicates who may be elected and under what conditions. If limitations are imposed, these should be described. Even if there are no restrictions on council membership, this section should be included.

3. General Organization of the Council;--This refers to the major divisions such as houses, sections, bodies, courts, boards, sub-councils, etc., their membership, responsibilities, and relationships.

OFFICERS: This article should contain information on the following

The following article on ratification illustrates these points;

This constitution shall become operative immediately after having been approved by a majority of the members of the council and the principal, and ratified by a two-thirds majority of the ~~xx~~ faculty and the general student body voting in a special election called for this purpose. *J*

A statement that the constitution should be placed in the hands of the voters far enough ahead of the election to allow time for study and discussion may well be included. A unanimous vote of approval is never required because in such an instance one individual could prevent ratification.

VETO; The principal's power of veto should be included as a main ~~xx~~ article of the constitution. It should be a statement that is short, clear, and to the point as the following; *J*

Since the powers of the student council are delegated to it by the principal, he shall have the ~~xxxxxx~~ right of veto over any measure which the student council proposes.

AMENDMENTS: No constitution can ever be considered a perfect and completely final instrument, so provisions must be made for officially amending it. These provisions must be included in the constitution or, technically speaking, it is not amendable. A good general policy is that amendments should be rather difficult to make, but not impossible. Following is an excellent example;

Amendments ~~to~~ this constitution may be made, upon a signed petition of 10 per cent of the registered voters of the association, by a ^{majority} ~~two-thirds~~ vote of the council, followed by the approval of the principal, and the ratification by a majority of the home rooms.

An article of amendment should include the following items;

1. Source of the Proposed Amendment-----This may be any ~~individual~~ individual or group in the school upon the basis of some specified number or proportion of school citizens, say 10 per cent.
2. Approval by the Council-----This should probably be only a majority.
3. Approval by the Principal-----Approval by the principal avoids misunderstandings and gets the principal's viewpoint before the trouble is taken to hold an election.
4. Ratification by the Student Body-----The council should have no more right to amend the constitution than it has to adopt it originally. This is a ^rerogative of the school as a whole. The voting should not come until at least a week ~~after~~ has elapsed after the amendment has been made available for study and discussion.
5. Effective Date of Amendment-----The time which the proposed amendment becomes effective should be indicated. Usually, an amendment becomes operative immediately, but not always.

Because an amendment is part of the constitution, it, together with the date of its ratification, but not the numerical result of the vote, should be appended to and included in all subsequently ~~xxx~~ issued copies of this instrument.

BY-LAWS: The constitution MUST;

1. establish the necessary by-laws, or
2. authorize the council to establish these, or
3. do both.

This last procedure is the most common. Even where a council has as yet not been organized or elected there is in essence a council 11-

the group which is sponsoring the development of the constitution--- and this group is in position to decide, to some extent at least, upon the by-laws which should govern the ultimate council's deliberations and actions.

The most important elements of bylaws are those indicated below;

QUORUM: A quorum is a stated proportion of the council members who must be present before business can be officially transacted. Usually this proportion is a "majority" of the membership of the body, but often it is "two-thirds" and occasionally "three-fifths," of "three-fourths."

MEETINGS: The article on meetings should include the following items;

1. Regularity and Frequency--These items are properly a part of the constitutional regulations which should ^{be} officially set by the student body, not by the council.
2. Time and Place of Meeting; These items are not definitely specified in the constitution; it merely authorizes the council to set a time and designate a place which will be convenient for all council members.
3. Continued Meetings; If, for lack of time, the topic under discussion has not been completely disposed of, the presiding officer may call a continued meeting for the following period, some other period, or even some other day at which time the business is resumed.
4. Special Meetings; The council through its presiding officer is authorized to call special meetings whenever necessary.
5. Postponed and Cancelled Meetings; The council, but more usually the president, is authorized to postpone or cancel meetings in the absence of a quorum or for other good reasons.

ELECTION OF OFFICERS: In most instances, and especially where the council elects its own officers, the procedure of nomination and ~~and~~ election are specified in the bylaws. Where these officers are elected by the school at large, these procedures are indicated either in the constitution or bylaws.

ORDER OF BUSINESS: The order of business in which the various items of business are considered may be established by the "rules of order" adopted, or it may be set by the council itself. Usually this order of business is somewhat as follows;

1. Call to order.
2. Roll call
3. Reading and approval of minutes
4. Receipt of communications, bills, etc.
5. Report of standing committees
6. Report of special committees
7. Old business
8. New business
9. Adjournment

RULES OF ORDER: A business meeting must follow established parliamentary procedures and the authority for these rules of order should be specified. A simple statement, such as "The meetings of the council shall be conducted in accordance with parliamentary procedure as given in the pamphlet "Democratic Organizations", is all that is necessary. Often a parliamentarian is appointed to straighten out confusings and difficulties which may arise in the conduct of the meeting.

VOTING PROCEDURE: The form or forms of voting should be indicated in

the bylaws, or authority given the council to establish these as it sees fit. Secret balloting is usually used in elections and open balloting in the handling of ordinary business meeting affairs. A roll-call vote in which the record of each member's vote goes into the minutes which may later be read to the home rooms or other groups, enables the constituents to know how their representatives represented them.

REPORTS: There are several different kinds of reports, such as those made to the council, to the principal, faculty, student body, and to other individuals and groups. The bylaws usually authorize a demand for these reports, often specifying the necessary details of form, time, and place.

FEES, DUES, AND ASSESSMENTS; Where fees, dues, and assessments are ~~XXXX~~ required or authorized, the details of the amounts, procedure of collection, handling, etc., are usually set forth in the bylaws.

INSIGNIA; In the schools in which official insignia are worn by the ~~MEM~~ members of the council, the specifications of these, as well as the method of wearing them and the occasions upon which they may be properly be worn, should be indicated in the constitution or bylaws. The matter of insignia for special committees or groups of the council, such as traffic police, should be decided by the council itself on the basis of an article or section authorizing them.

AMENDMENTS; Bylaws must be changed as new occasions and demands arise. They cannot be legally amended unless provision is made for doing so and formally adopted by the council or by the student body, depending upon the form of the constitution.

PART VI---NOMINATION AND ELECTION PROCEDURES

An organization is no better than its officers. It may be based on the finest ideals possible, be structurally sound, and have an excellent program of activities and still be a miserable failure because its leaders are incompetent. Therefore the election of able and capable officers and representatives is one of the most important problems of participation.

The main objective of an election is not merely to put good leaders into office, but to put good leaders into office with ~~x~~ maximum educational benefits for all concerned, both electors and electees. The individual who votes blindly or with no serious thought about his own responsibility profits, educationally, but little, while the voter who gives careful consideration to the qualifications of candidates, works conscientiously, and faithfully accepts his own responsibility receives educational benefits well worth the efforts involved. |

ELECTION COMMITTEES

A school election involves numerous and varied elements and in any except the smaller schools it should probably be put in the hands of a committee which specializes in this phase of participation activity. This non-political group, composed of council members, or council members and a few competent students from the school at large, is responsible only to the council. It develops plans, and after ~~receiving sanction~~ obtaining official sanction for its program, proceeds to ^{organize} and supervise election procedures.

ELECTION PROCEDURES

A formal plan of election procedure appears to be the most desirable. It gives dignity and weight to the event, brings vital interest, has a strong emotional appeal, and is realistic enough to be functional as preparation for later adult activities.

NOMINATIONS

Candidates may be nominated in three ways, from the floor, by a committee

or by petition.

1. Nominations from the Floor—This is the simplest and most direct method of making nominations. The chairman merely indicates the office to be filled and calls for nominations, and anyone in the group may nominate any other member, or even himself. Except probably in very small ~~groups~~ and informal groups, the use of this plan of nomination is hardly justifiable.
2. Nomination by Committee—In this plan, a central nominating committee, composed of properly appointed or elected representatives, makes a slate of candidates, often naming two candidates for each office. A possible disadvantage of this plan is that it limits participation in nominating procedure to relatively few students.
3. Nomination by Petition—In this plan a formal authorized petition is made up and passed around among the voters. The proper number or percentage of the voters who must sign it before it can be officially considered is usually set by the constitution. Generally, the larger the unit represented in the election the greater the number of petitioners required.

Generally speaking, either of the last two methods of nominating is better than the first, and either is quite satisfactory for the school election.

COMMONLY MADE PARLIAMENTARY ERRORS—In order to clarify nominating and electing procedures, it is pertinent to consider a very few commonly parliamentary mistakes.

1. Accepting the Report of the Nominating Committee and Declaring the Candidates Elected.—The acceptance of the nominating committee's report means only that the individuals named in the report are accepted as candidates, and it means nothing more. They must still be voted upon. Too, the chairman should ask for any additional nominations before calling for a vote.

2. Moving for a Unanimous Vote.—In case there is only one candidate, a member may move that the president cast a ~~unanimous~~ unanimous ballot for this individual, thereby electing him. This is an incorrect procedure. The vote should be taken in exactly the same manner as if there were more than one.

3. Moving for a Unanimous Vote by the Defeated Candidate.—Frequently upon being defeated, a candidate moves that the vote be made unanimous in favor of the